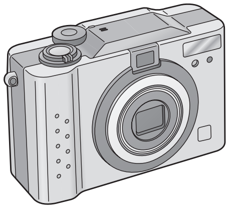
Panasonic



デジタルカメラ

取扱説明書

品番 DMC-LC20



上手に使って上手に節電

保証書別添付

MultiMediaCard™

LEICA
DC VARIO-ELMARIT

このたびは、デジタルカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日 • 販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT9913-1

もくじ

[編集する]

[使いこなす]

[その他]

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

電池を分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、火中投入などをしない

禁 止

液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

●不要(寿命)になった電池については 80 ページをご参照ください。

電池の ⊕⊖ に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない

禁 止

液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

●ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

電池を炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない

禁 止

液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

専用の充電器で充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

安全上のご注意（つづき）必ずお守りください

⚠警告

内部に金属物や燃えやすいものなどを入れない

禁　止

火災・感電・故障につながります。

●乳幼児にご注意ください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない

禁　止

落下すると、けがや製品の故障につながります。

不安定な状態で使わない

禁　止

転落すると、死亡や大けがにつながります。

●安定した足場、安定した体勢を確保してください。

ぬれた手で、充電器の抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

●必ず、乾いた手で持ってください。

自動車など、乗り物を運転しながら使わない

禁　止

事故の誘発につながります。

●歩きながら使うときも、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

⚠警告

水をかけたり、ぬらしたりしない



水ぬれ禁止

内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。

●水が入ったときは、販売店にご相談ください。
●雨天、降雪中、海岸、水辺など、水がかかりやすいところで使うときは、ぬらさないようにご注意ください。

分解や改造をしない



分解禁止

火災・感電・故障につながります。

●修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。
●お手入れ時、または、部品の取り外しや取り付けなどが必要な場合は、説明書の指示に従ってください。

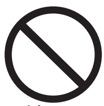
フラッシュの発光部分を手で触らない



接触禁止

フラッシュの発光後、発光部分に触らないでください。やけどの原因となります。

交流100ボルト～240ボルト以外では使わないまた、配線器具の仕様をこえる使いかたをしない



禁　止

たこ足配線などの場合も、過電流で発熱し、火災・故障につながります。

⚠警告

プラグのほこりなどは定期的にとる

湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

●充電器を抜き、乾いた布でふいてください。
●充電後は充電器を抜いてください。
●プラグは時々点検してください。

プラグは根元までしっかりと差し込む

接触不良で火災・感電につながります。

●いたんだプラグは使用しないでください。
●プラグは時々点検してください。

プラグを破損させない

禁　止

無理なねじり、引っ張り、加工、重いものの下敷きなどは、プラグの破損の原因となり、火災・感電につながります。

●破損したときは、使うのをやめ、販売店にご相談ください。

雷が鳴り出したら、本機の金属部や充電器のプラグにふれない

禁　止

落雷すると、感電につながります。

⚠注意

高温になるところに放置しない

禁　止

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になります。デジタルカメラなどを絶対に放置しないでください。熱で外装が変形し内部部品が破損すると火災・感電のおそれがあります。

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、電池を取り出す

誤って内部にふれると、感電するおそれがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災につながるおそれがあります。（カード保護のため、カードも取り出しておいてください）

フラッシュ発光中に近くで発光部を直接見ない

禁　止

強い光により、目をいためるおそれがあります。

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない

禁　止

集光により、内部部品が破損し、火災のおそれがあります。

⚠注意

指定以外の電池を使わない

禁止

指定以外の電池を使うと、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

USB 接続ケーブルはUSB 端子以外には装着しない

禁止

ケーブルや機器の破損の原因となります。

●必ず、USB 接続ケーブルを装着する前に、使用機器の端子がUSB用であることを確認してください。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼすおそれがあります。

●病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

禁止

重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

⚠注意

新しい電池と古い電池をまぜて使わない

禁止

液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

種類が違う電池を使わない

禁止

液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

電池は ⊕⊖ を確かめ、正しく入れる

液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

充電中や使用中は、機器の上に布などをかぶせない

禁止

熱で外装ケースが変形し内部が発熱すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

安全上のご注意（つづき）必ずお守りください

⚠注意

ケーブルを持って抜かない ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったりしない

禁止

ケーブルや機器の破損の原因となります。

●必ず、プラグ部分を持って、まっすぐ抜いてください。

ケーブルが張った状態で使わない

禁止

ケーブルにつまずいて、転倒や機器が損傷するおそれがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところでは使わない

禁止

水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると火災・感電のおそれがあります。

●3 年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。（特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると、効果的です）
●費用についても、そのときお確かめください。

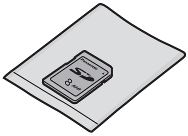
電池が液もれしたときは

- 万一、液もれが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

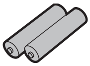
付属品

本機をご使用いただく前に、すべての品が入っていることをご確認ください。
記載の品番は 2002 年 3 月現在のものです。

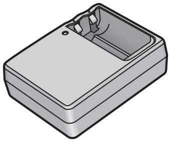
1 SD メモリーカード（8MB）
RP-SD008B



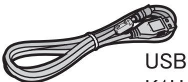
2 単 3 形ニッケル水素電池 (2 本)



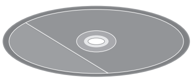
3 充電器
DE-893BA



4

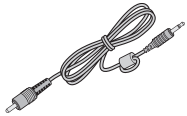


USB接続ケーブル
K1HA05CD0001

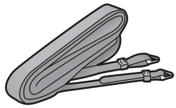


CD−ROM

5 ビデオケーブル
VJA1153



6 ストラップ
VFC3886



7 金属板
VHD1110



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

使う前に

まずお読みください。
事前に必ずためし撮りをしてください。
大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

撮影内容の補償はできません。
本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

著作権にお気を付けください。
あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気を付けください。

カードの画像について
他機で記録、作成した画像の本機での再生、本機で記録した画像の他機での再生はできない場合がありますので、あらかじめお確かめください。

本書内の写真、イラストについて
本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

参照ページについて
参照いただくページを(P00) で示しています。

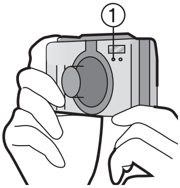
本機で使用できるカードは
SD メモリーカード、マルチメディアカードです。

- 本書では SD メモリーカードとマルチメディアカードをカードと記載します。
- :SD ロゴは商標です。
- Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の商標です。
- Macintosh、MacOS は Apple Computer Inc. の登録商標または商標です。
- LEICA/ ライカはライカマイクロシステム IRGmbH の登録商標です。
- DC VARIO-ELMARIT/DCバリオエルマリートはライカカメラ AG の登録商標です。
- QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTime は米国および他の国々で登録された商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
- 本製品に付属するソフトウェアを、無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

上手に撮る姿勢

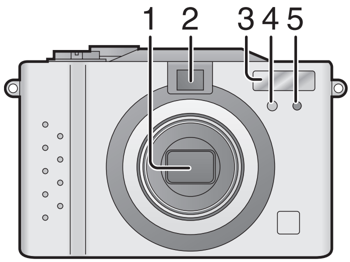


左手でレンズ左斜め下を押さえて固定し、右手でしっかり本機をささえます。



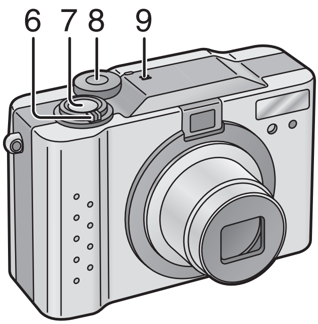
次に、カメラポジションを決めます。カメラを構える向きが被写体のアングルや背景を変化させます。被写体のどこの部分をどれくらいの大きさで撮影するのか、ズームなどを使って調整(フレーミング)します。
フラッシュ調光センサー① を指などでふさがないでください。明るさを感知できません。

各部の名前



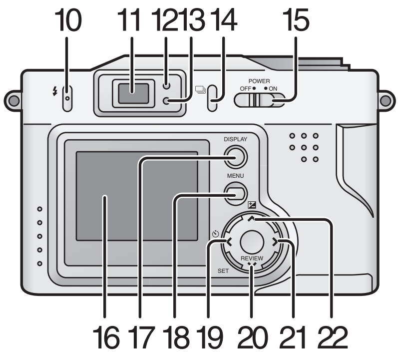
[前面]

1　レンズ
2　光学ファインダー(P34)
3　フラッシュ発光部(P40)
4　フラッシュ調光センサー(P41)
5　セルフタイマーランプ(P42)



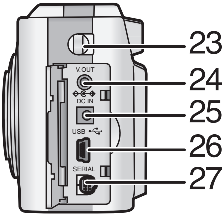
[天面]

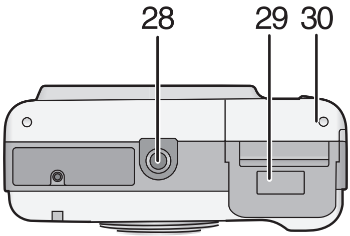
6　ズームレバー(P38)
7　シャッターボタン(P30)
8　モードダイヤル (P33)
9　マイク



[後面]

10 フラッシュ切換ボタン(P40)
11 光学ファインダー(P34)
12 動作表示ランプ(P29)
13 フラッシュ/アクセスランプ(P29)
14 単写 / 連写切換ボタン(P53)
15 電源スイッチ(P23)
16 液晶モニター(P18, P28)
17 DISPLAY ボタン(P28)
18 MENU ボタン(P32)
19 セルフタイマー/◀ ボタン(P42)
20 REVIEW/SET/▼ ボタン(P36)
21 ▶ ボタン
22 露出補正 /▲ ボタン (P45)





[左側面]

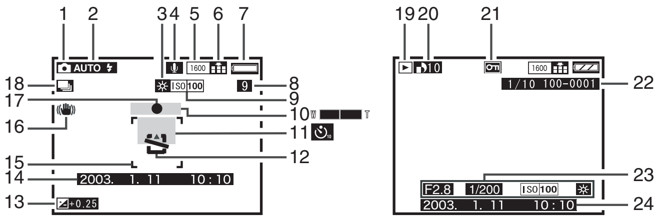
23 ストラップ取付け部(P26)
24 V.OUT(ビデオ出力) 端子 (P75)
25 DC IN 端子 (P24)
26 USB 端子(P77)
27 SERIAL 端子(P65)

[底面]

28 三脚取付け穴(P27)
29 電池扉(P21)
30 メモリーカード扉(P22)

液晶モニターの表示

液晶モニターの画面表示は、デジタルカメラの操作状態を示しています。



撮影時

1　撮影モード（P34）

2　フラッシュモード（P40）

3　ホワイトバランス（P47）

4　音声記録（動画記録のみ）

5　記録画素数（P43）

6　クオリティ（圧縮率）（P44）

7　電池残量（P24）

8　撮影残り枚数 / 時間
（動画時 XX 秒）

9　ISO 感度（P49）

10 ズーム表示（P38）

11 セルフタイマーモード（P42）

12 メモリーカード表示（P22）

13 露出補正表示（P45）

14 現在日時（P31）

15 フォーカスエリア（P34）

16 手ぶれ警告表示（P29）

17 フォーカス表示（P34）

18 連写撮影（P53）

再生時

19 再生モード（P54）

20 DPOF 設定表示（P60）

21 プロテクト画像（P63）

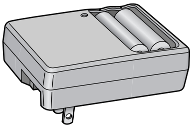
22 フォルダー/ ファイル番号（P74）

23 撮影情報

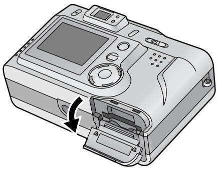
24 撮影日時

クイックガイド

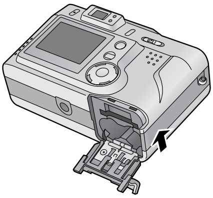
1



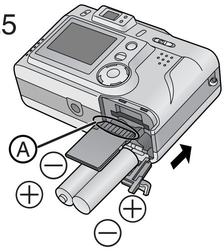
2

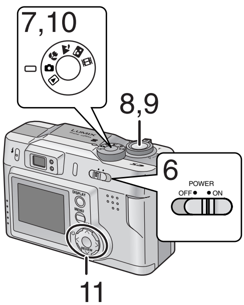


3



4,5





機材を準備します。
- 本機
- 電池
- メモリーカード

電源スイッチが [OFF] になっていることを確認してください。

■ 準備

1　充電器で電池を充電する (P20)
- 約 5 時間で満充電完了です。

2　メモリーカード扉を開ける

3　電池扉をスライドさせて開ける

4　電池を本機に入れる (P21)

5　メモリーカードを本機に入れ、電池/メモリーカード扉を閉じる（P22）
Ⓐ: カード裏面の接続端子部分

■ 撮影

6　電源スイッチを [ON] にする（P23）

7　モードダイヤルを通常撮影モード [📷] にする (P33)

8　シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる（P30）

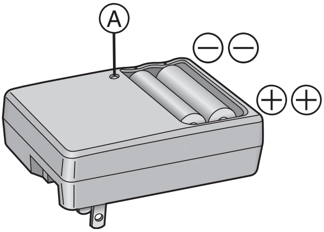
9　シャッターボタンを全押しして撮影する（P30）

■ 再生

10　モードダイヤルを再生 [▶] にする（P54）

11　◀/▶ を押して見たい画像を表示する

電池を充電する



1　付属の単 3 形ニッケル水素電池を充電器に入れる

2　充電器を電源コンセントに差し込む

- 充電ランプ Ⓐ が点灯し、充電が始まります。

3　充電ランプが消灯すると満充電完了

- 約 5 時間で満充電完了です。

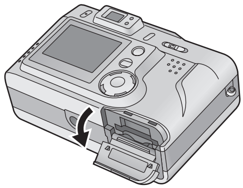
- 電池が確実に入っていることを確認してください。
- 充電完了後は充電器を電源コンセントから外してください。
- 当社製の単 3 形ニッケル水素電池以外は使用しないでください。
- 電池容量を使い切ってから充電することをおすすめします。電池容量を使い切らずに充電を繰り返すと、電池容量が持続しにくくなることがあります。(メモリー効果といいます)
  メモリー効果が発生したときは、撮影または再生できない状態まで使い切ってから満充電を数回繰り返してください。電池容量が回復します。

■充電する環境 / 充電エラーについて

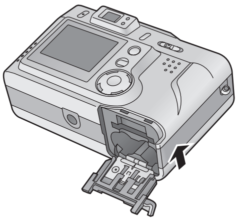
- 充電は周囲の温度が 10 ～ 35 ℃(電池の温度も同様)のところで行ってください。
- 充電が始まると、充電ランプが点灯します。充電開始後、動作表示ランプが点滅した場合は充電エラーです。
  その場合、充電器を電源コンセントから抜いて、バッテリーを取り出し、周囲の温度や電池が低温または高温になっていないかを確認し、再度充電しなおしてください。(充電器のプラグを抜き差しするだけではエラーを解除できません)再度充電してもまだ点滅する場合は、販売店にご相談ください。

電池を入れる

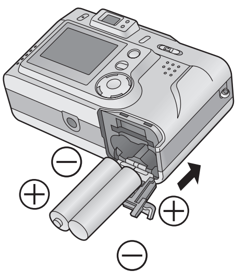
1



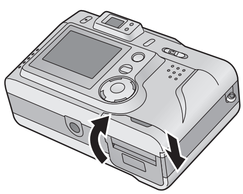
2



3



4



[準備]

- 電源スイッチを [OFF] にしておいてください。

1　メモリーカード扉を開く

2　電池扉をスライドさせて開く

- 必ずメモリーカード扉を開けてください。

3　電池を入れる

- ⊕⊖ の向きを間違えずに入れてください。

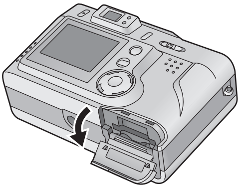
4　電池扉とメモリーカード扉をカチッとなるまで閉じる

お願い/ヒント

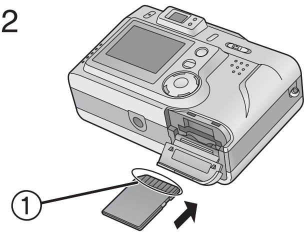
- カメラを長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 満充電された電池を挿入して約 5 分以上経過すると電池を取り外して放置しても、約 6 時間は時計設定を記憶しています。(十分に充電されていない電池を挿入した場合は記憶時間は短くなることがあります)しかしそれ以上時間が経過すると設定が消えてしまいますので、もう一度時計設定をしなおしてください。(P31)
- カメラから電池を取り出すときは、電源スイッチを [OFF] にしてから取り出してください。
- カードのデータが破壊される可能性があるので、アクセス中は電池扉やメモリーカード扉を開けないでください。
- 当社製の単３型ニッケル水素電池をご使用ください。
- アルカリ乾電池、マンガン乾電池は使用しないでください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。

カードを入れる

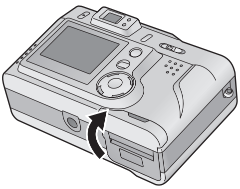
1



2



3



[準備]
- 電源スイッチを [OFF] にしておいてください。

[カードを入れる]

1 メモリーカード扉を開く

2 カードをカチッとなるまで奥までしっかり入れる

- カードの向きを確認してください。
- カードの裏の接続端子部分に触れないでください。①

3 メモリーカード扉をカチッとなるまで閉じる

[カードを取り出す]

1 メモリーカード扉を開く

2 カードを押す

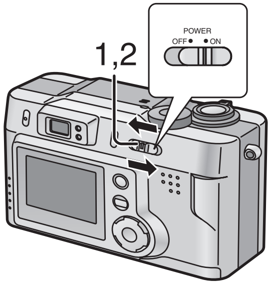
3 カードをまっすぐ引き抜く

4 メモリーカード扉をカチッとなるまで閉じる

お願い/ヒント

- カードを取り出すときは、電源スイッチを [OFF] にしてから取り出してください。
- メモリーカード扉が完全に閉じない場合は、一度カードを取り出してから、もう一度入れ直してください。
- カードが入らないときは、カードの向きが正しいか確認してください。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。(正規カード以外は使用しないでください。)
- カードをカチッとなるまで奥まで入れずにメモリーカード扉を閉じると、カードが壊れることがあります。

電源を入 / 切する(ON/OFF)



[電源を入れる]

1 電源スイッチをスライドさせて [ON] にする

- 動作表示ランプ(緑)が点灯します。

[電源を切る]

2 電源スイッチをスライドさせて [OFF] にする

お願い/ヒント

- 撮影モードで電源を入れるときは、レンズが出ますので、レンズの前に障害物がないところで行ってください。
- 電源を [ON] にして画像が出るまでに、しばらく時間がかかる場合があります。

電池の残量表示について

残量表示が液晶モニターに表示されます。(別売の AC アダプターで電源を供給しているときは表示されません)

:電池の容量は十分です。

:残量が少なくなっています。

(点滅): 電池を交換、または充電してください。

電池の残量がなくなるとビープ音がなり、電源が切れます。

■ 充電時間と撮影可能時間について

(撮影条件)

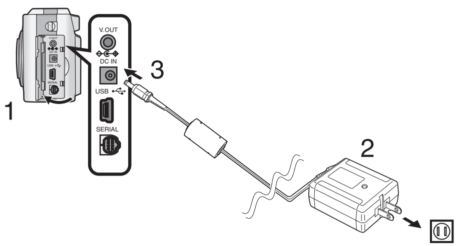
25 ℃、30 秒間隔で 1 回記録、フラッシュを 2 回に 1 回発光

付属の ＳＤ メモリーカード(８ MB)使用

	充電時間	連続撮影時間(枚数)･液晶モニターON のとき	連続撮影時間(枚数)･液晶モニターOFF のとき
付属の電池	約 5 時間	約 50 分(100 枚相当)	約 120 分(240 枚相当)

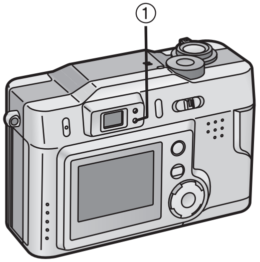
お願い/ヒント

- 別売の AC アダプター(DMW-AC1) を使って電源コンセントにつなぐと、電池の消耗を気にせずに使えます。
  接続方法
  1 端子扉をあける
  2 電源が OFF の状態で AC アダプターのコンセントをつなぐ
  3 本機に DC コードをつなぐ



- 必要がない場合は AC アダプターと DC コードを抜いておいてください。
- AC アダプターを接続して電池を充電することはできません。
- 別売の AC アダプターは海外でも使うことができます。ただし、変換アダプターが必要です。
- 使用中、本機が温かくなりますが、故障ではありません。

カードについて



■ **カードにアクセス中は・・・**

カードにアクセス（認識 / 記録 / 再生 / 消去など）中は、赤色のフラッシュ/アクセスランプ ① が点灯します。

フラッシュ/ アクセスランプが点灯しているときは、電池を抜かないでください。また、メモリーカード扉を開けてカードを抜いたり、電池を取り外さないでください。カードやカードの内容が破壊されたり、本体が正常に動作しなくなることがあります。

電気ノイズ、静電気、本機やカードの故障などによりカードのデータが壊れたり消失することがありますので、大切なデータは USB 端子などを使って、パソコン（P77）などにも保存してください。

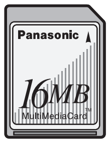
■ SD メモリーカード（付属）とマルチメディアカード（別売）について

SD メモリーカードとマルチメディアカードは小型、軽量で、着脱可能な外部メモリーカードです。SD メモリーカードはカードへの書き込みやフォーマットを禁止する書き込み禁止スイッチを備えています。

SD メモリーカード
- RP-SD128BJ1A(128MB)
- RP-SD064B(64MB)
- RP-SD032B(32MB)
- RP-SD016B(16MB)
- RP-SD008B(8MB)

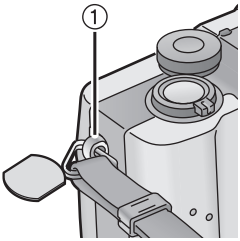


マルチメディアカード
- VW-MMC16(16MB)
- VW-MMC8(8MB)



記載の品番は 2002 年 3 月現在のものです。

ストラップを付ける



1　ストラップ先端の三角形の金具を付属の金属板で開き、本機のストラップ取付け部 ① につける

2　ストラップを付ける

3　もう一方も同じように付ける

お願い/ヒント

- ストラップがしっかりと付けられたことを確認してください。

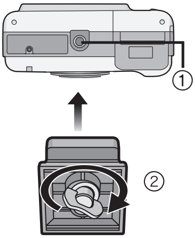
三脚に取り付ける

市販のカメラ用三脚を使うと、シャッタースピードの遅いときや望遠で撮影するときでも安定した撮影ができます。

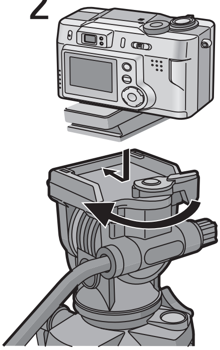
1　本機の三脚取付け穴 ① に合わせて、カメラ台 ② を付ける

2　カメラ台を三脚に取り付ける

1



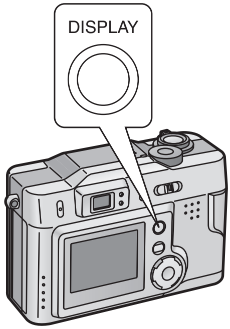
2



📖 お願い/ヒント

- 三脚の説明書をよくお読みください。
- 電池やカードは取り出せません。

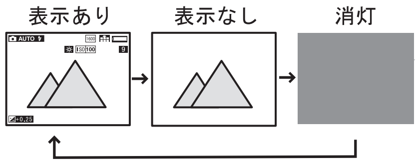
液晶モニターの表示を入 / 切する



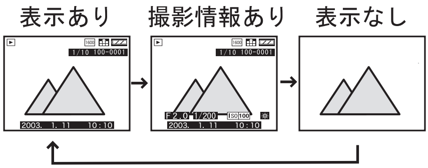
液晶モニターの表示は、[DISPLAY] ボタンを押すごとに以下のようになります。

- デジタルズームを [ON] に設定しているときは液晶モニターの表示は消灯しません。

[撮影時]

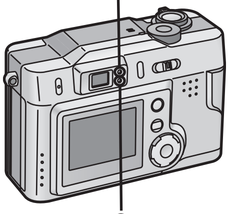


[再生時]



- 液晶モニターの消灯状態でも、オートレビューを [ON] に設定しているときはオートレビューされます。(オートレビュー終了後、消灯します)
- 液晶モニターの表示が [OFF] でも、撮影後、[REVIEW/SET] ボタンを押すとレビューされます。(レビュー終了後、消灯します)
- フラッシュ充電中は液晶モニターが消灯します。
- 液晶モニターを消灯して電源を [OFF] にすると、再度、電源を [ON] にしても液晶モニターは消灯したままです。

ランプについて



■ 動作表示ランプ(緑)①

点滅

- フォーカス動作中およびフォーカスが合っていないとき
- カードが入っていないとき
- カードの撮影残り枚数 / 時間がないとき
- 動画記録中
- 電池残量が少なくなったとき(ゆっくり点滅)

点灯

- 電源スイッチを [ON] にしたとき

■ フラッシュ/ アクセスランプ(赤)②

点滅

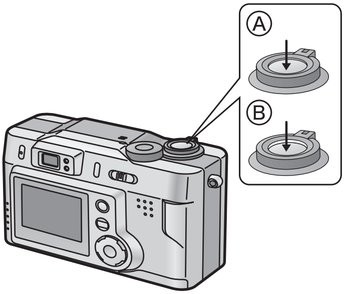
- フラッシュの充電をしているとき
- フラッシュの設定が[赤目軽減スローシンクロ] または [発光禁止] で、暗い場所でシャッターを半押しするとき(ゆっくり点滅)(手ぶれ警告表示)

  [ ] マークも同時に表示されます。三脚の使用をおすすめします。
- パソコンにデータを転送中(点滅の周期はデータの内容によって変わります)

点灯

- カードにアクセスしているとき
- フラッシュが発光する時 (シャッター半押しで点灯)

シャッターボタンについて (半押し / 全押し)



シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の２段階になっています。

■ Ⓐ 半押し (浅く押す)

• ピントと露出が固定されます。

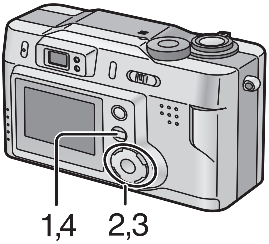
■ Ⓑ 全押し (下まで押し切る)

• 静止画が本機に取り込まれます。動画の場合は、撮影が始まります。

📖 お願い/ヒント

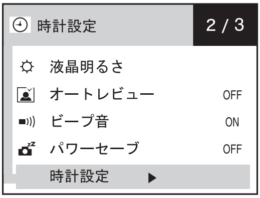
• ビープ音設定は、メニューで操作できます。(P32)
• 一度に全押しすると、手ぶれをしたり、ピントが合わなかったりします。

時計を設定する

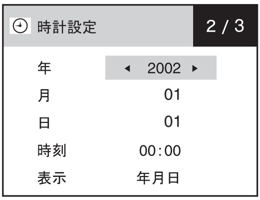


お買い上げ時は時計設定はされていませんので撮影前に設定してください。
満充電された電池を挿入、または別売のACアダプターを接続して約5分以上経過すると電池を取り外して放置しても、約6時間は時計設定を記憶しています。(十分に充電されていない電池を挿入した場合は記憶時間が短くなることがあります)
しかしそれ以上時間が経過すると設定が消えてしまいますので、もう一度時計設定をしなおしてください。
([時計を設定して下さい]という表示が出ます。その場合、[MENU] ボタンを押すだけで手順3の画面が表示されます)

2



3



1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で [時計設定] を選ぶ

3 ▲/▼/◀/▶ で年月日と時刻、表示を合わせる

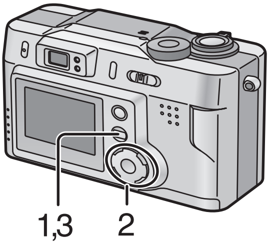
4 [MENU] ボタンを２回押す

- メニュー画面が消えます。

お願い/ヒント

- 電池交換後は時計設定を確認してください。
- 年は2002年から2099年まで設定できます。時刻は24時間表示です。

メニュー画面を操作する



メニュー画面で、撮影や再生時の設定をします。また年月日、時刻、ビープ音などの各種設定も行います。液晶モニターを見ながら操作してください。

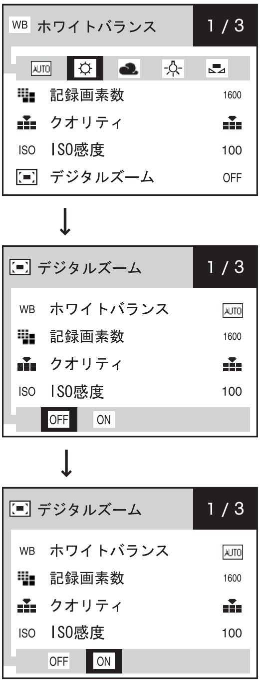
1 [MENU] ボタンを押す

- モードダイヤルが通常撮影、マクロ、風景、夜景ポートレート、動画のときは撮影系のメニュー、再生のときは再生系のメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で項目を選び、◀/▶ で設定する

3 [MENU] ボタンを押す

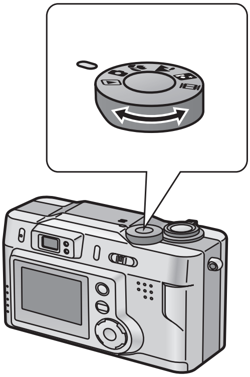
- メニュー画面が消えます。



お願い/ヒント

- メニュー画面を英語表記にすることができます。設定方法は上記の手順で [言語] より [ENG(英語)] を選んでください。

モードダイヤルについて



このダイヤルで以下のモードを切り換えます。

▶ :再生(P54)
撮った画像を再生します。

撮影時に以下の５つのモードから選択します。

:通常撮影(P34)
通常の撮影に使用するモードです。状況に応じてホワイトバランスや ISO 感度などの設定を変更することができます。

:マクロ(P50)
カメラのレンズから被写体までの距離が15 cm ～ 70 cm のときに設定します。

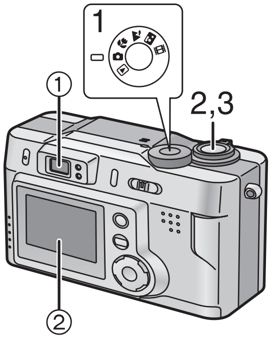
:風景(P51)
遠くの風景をきれいに撮影したいときに使用するモードです。屋外で被写体までの距離が 10 m 以上のときに最適です。

:夜景ポートレート(P52)
夜景をバックに人物などを撮影したいときに設定します。フラッシュとスローシャッターを使うことにより、背景だけでなく被写体の露出も合わせやすくなります。スローシャッターになるため三脚の使用をおすすめします。また被写体をフラッシュの届く範囲で撮影してください。

:動画(P37)
音声付き動画を撮影します。
本機では音声を再生できません。パソコンなどで音声を再生してください。

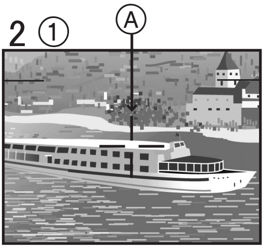
撮影してみましょう

シャッターボタンを押すだけで、露出(シャッタースピードと絞り値)が自動的に決まり、撮影します。



[準備]

- カードを入れる(P22)
- 電源スイッチを[ON]にする(P23)



1 モードダイヤルを選ぶ (P33)

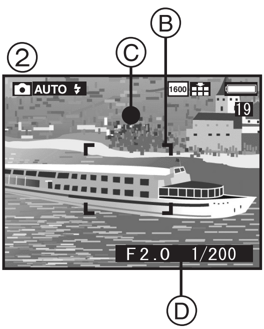
2 光学ファインダー① から見る場合

被写体を光学ファインダー内のAFターゲット Ⓐに合わせ、シャッターボタンを半押しする

液晶モニター② から見る場合

被写体が液晶モニターのフォーカスエリア Ⓑ に入るように合わせ、シャッターボタンを半押しする

- ピントが合うと、液晶モニターにフォーカス表示 [●]Ⓒ が出ます。また、動作表示ランプが点滅から点灯に変わります。
- シャッタースピードと絞り値が自動的に決まり、液晶モニターに表示されます。Ⓓ
- 被写体がAFターゲットやフォーカスエリアから外れる場合は AF/AE ロック撮影(P46) を行ってください。

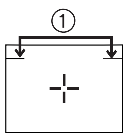


3 シャッターボタンを全押しして撮影する

- [オートレビュー](P70) を [ON] にしていると、撮影後約 1 秒間撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

📖 お願い/ヒント

- 一度に全押しすると、手ぶれをしたり、ピントが合わなかったりします。
- フォーカス表示が出て、ピントが合っても、シャッターボタンをはなすとピントが解除されます。再度、半押ししてください。
- 以下のような場合、通常撮影モードではピントがうまく合いません。
  - ❶ 遠くと近くのものを撮る
  - ❷ よごれたガラスの向こうのものを撮る
  - ❸ キラキラと光るものが周りにある
  - ❹ 暗い場所を撮る
  - ❺ 動きの速いものを撮る
  - ❻ コントラストの少ないものを撮る
- フラッシュの設定が [赤目軽減スローシンクロ] または [発光禁止] で、暗い場所で撮影する場合、手ぶれを防止するため三脚の使用をおすすめします。
- パワーセーブが設定されているときは、設定内容により、約２分 / ５分 /10 分間カメラの操作をしないと自動的に電源が切れます。再びカメラの操作をするときは、電源スイッチを [OFF] にしてから再度 [ON] にしてください。（P72)
- 液晶モニターの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。特に暗い場所で長時間露光で撮影するときなどは、液晶モニター上は暗く映りますが、実際は明るく撮れます。
- ズーム動作やパンニングなどで明るさが変化した場合、レンズ部からカチッと音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わるときがありますが、静止画撮影に影響はありません。また、異常ではありません。このときの音はカメラの自動絞り動作によるものです。
- シャッターボタンを半押ししたときにフォーカス動作のため、モーターの音がしますが、異常ではありません。
- シャッターボタンを押すと、最適撮影状態になるように露出が自動的に設定されます。このときシーンによっては液晶モニターが暗くなる場合がありますが、撮影画像には影響ありません。

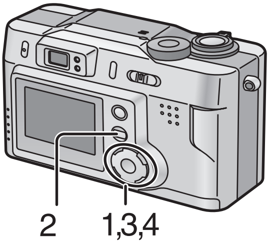


■ 光学ファインダー内のパララックス補正マーク ① について

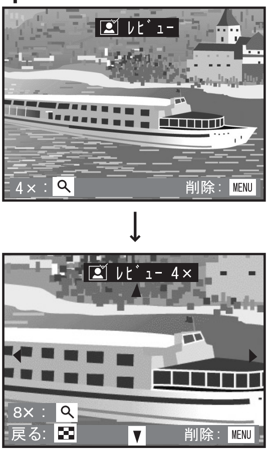
ズーム T 側で被写体距離が 70 cm ～１ m のとき、上側をパララックス補正マークに合わせると、被写体の上部が切れたりしません。正確なフレーミングが必要なときは、液晶モニターをご使用ください。

撮る・基本

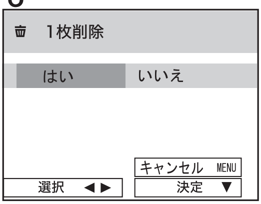
撮影した画像を確認する（レビュー）



1



3



オートレビュー(P70) を [ON] にしていると、撮影直後約 1 秒間撮影した画像が液晶モニターに表示されますが以下の方法で確認することもできます。

1 撮影後、[REVIEW] ボタンを押す

- 最後に撮影した画像が約３秒間表示されます。[🔍] 側（ズームレバーの T 側）に動かすごとに、4 倍 /8 倍にズームして表示されます。
- ▲/▼/◀/▶ で拡大位置を変えることができます。

■撮影した画像をレビュー中に削除する

2 [MENU] ボタンを押す

3 ◀/▶ で [はい] を選ぶ

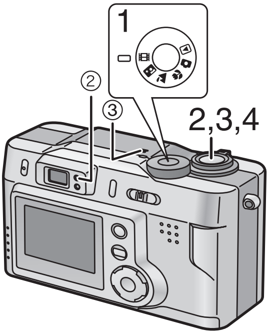
4 [REVIEW] ボタンを押す

- 画像が削除されます。
- 一度削除された画像は復帰しません。

お願い/ヒント

- 連写 [ ] のときは、最初の１画像のみレビューで見ることができます。
- 動画[ ]のときは、レビューが使えません。
- 一度電源を [OFF] にしたりモードダイヤルを変えると、レビュー画面を表示させることはできません。
- レビュー中、[ ] 側（ズームレバーの W 側）に動かしてもマルチ再生できません。

動画を撮影してみましょう



[準備]
- カードを入れる(P22)
- 電源スイッチを [ON] にする(P23)

1　モードダイヤルを動画 [🎞] にする

2　被写体が液晶モニターのフォーカスエリアの中心に入るように合わせ、シャッターボタンを半押しする

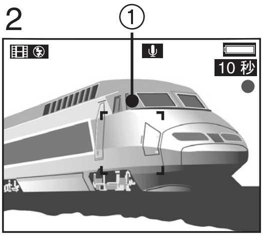
- ピントが合うと、フォーカス表示[●]①が画面に出ます。

3　シャッターボタンを全押しして撮影を開始する

- 動画を撮影中は動作表示ランプ ② が点滅します。
- 音声も同時に記録されます。
- 記録画素数は 320 × 240 に固定されます。

4　再度シャッターボタンを全押しして撮影終了する

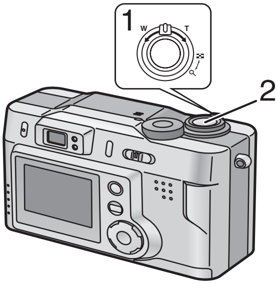
- 記録途中でカードのメモリーがいっぱいになると自動的に撮影が終了します。
- 動画は最長約 20 秒記録できます。

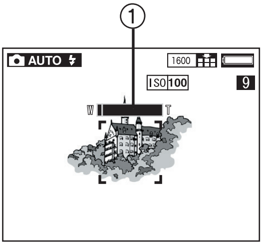


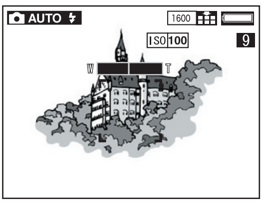
お願い/ヒント

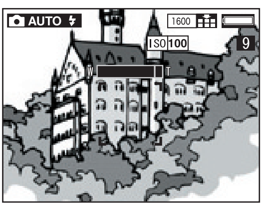
- 動画撮影終了後、画像をメモリーカードに記録中は、動作表示ランプが点滅し、記録が終わると点灯します。メモリーカードへの記録中は何も操作しないでください。
- [ISO 感度] は自動的に [AUTO] になり、[デジタルズーム]、[記録画素数] と [クオリティ] は選択できません。
- フラッシュモードは発光禁止 [⊛] になります。
- 連写撮影、露出補正はできません。
- 動画撮影中に電池残量がなくなった場合、撮影中の動画は記録されない場合があります。
- 動画撮影中はマイク ③ を指などでふさがないようにしてください。
- 本機では音声を再生できません。パソコンなどで再生してください。
- 本機で撮影された動画を他機で再生すると画質、音質が劣化したり、再生できない場合があります。
- マルチメディアカードを使う場合、動画記録後、グレーの画面が出る場合がありますが、異常ではありません。
- 撮影時および再生時の秒数表示はめやすであり、多少の誤差を含みます。

大きく(望遠)または広く(広角)撮る









ズーム3倍までの範囲で、人や物を大きく撮ったり景色などを広角に撮ることができます。

[準備]

- モードダイヤルを選んでおいてください。(P33)

1　被写体にカメラを向けて、ズームレバーで大きさを調整する

大きく撮るには(望遠):
T 側へ動かす
広く撮るには(広角):
W 側へ動かす

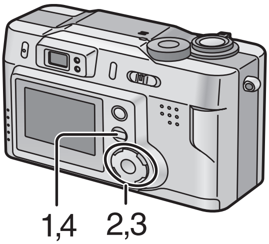
2　撮影する

- 撮影手順は「撮影してみましょう(P34)」と同じです。

お願い/ヒント

- 50 cm以上離れるとピントが合います。マクロ時は50ページを参照してください。
- ズーム表示①はズームレバー操作を止めた時点でバーの位置移動を始めます。ズームレバー操作中はズーム表示は移動しませんが、異常ではありません。

さらに拡大して撮る(デジタルズーム)



光学３倍、デジタル２倍の最大６倍まで拡大が可能になります。

[準備]
- モードダイヤルを選んでおいてください。(P33)

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で [デジタルズーム] を選ぶ

3 ◀/▶ で [ON] を選ぶ

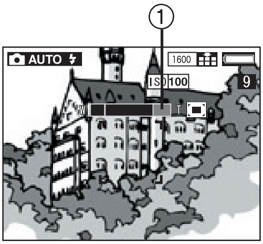
4 [MENU] ボタンを押す

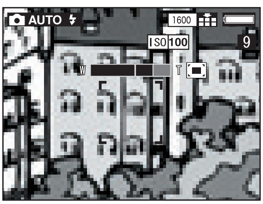
  - メニュー画面が消えます。

- ズームの調整や撮影手順は、「大きく (望遠) または広く (広角) 撮る (P38)」と同じです。

2,3



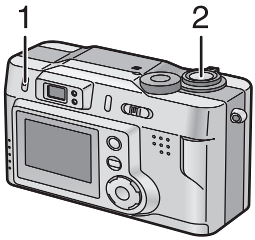




お願い/ヒント

- デジタルズームを [ON] に設定すると、デジタルズーム表示 ① が出ます。
- 動画 [▦] のときは、デジタルズームが使えません。
- デジタルズームを [ON] に設定しているときは液晶モニター消灯しません。
- デジタルズームは拡大するほど画質が劣化します。
- 設定メモリーを [OFF] に設定していると、電源を [OFF] にしたときにリセットされます。(P73)

内蔵フラッシュを使って撮る



[準備]

- モードダイヤルを選んでおいてください。（P33）

1 [⚡] ボタンを押す

- 押すごとに、以下のように切り換わります。



AUTO ⚡ : オート

撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。

AUTO 👁 : 赤目軽減オート

撮影状況に応じて自動的にフラッシュが発光し、同時に人の瞳が赤く写る (赤目現象) をおさえます。

暗い場所で人物を撮るときなどに使います。

⚡ : 強制発光

フラッシュを強制的に発光させます。

逆光になる場合や、蛍光灯などの照明の下に被写体がある場合などの撮影に使います。

AUTO SLOW 👁 : 赤目軽減スローシンクロ

夜景を背景に人物を撮影するときなど、フラッシュ発光とともにシャッタースピードも長くして背景の夜景も明るく写します。同時に人の瞳が赤く写る (赤目現象) をおさえます。

🚫 : 発光禁止

暗いところでもフラッシュが発光しません。

フラッシュ禁止の場所での撮影や、フラッシュの光が届かない距離での撮影などに使います。

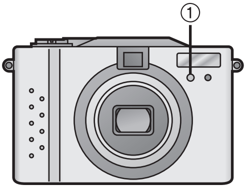
2 撮影する

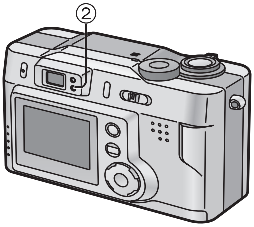
撮影手順は「撮影してみましょう（P34）」と同じです。

📖 お願い/ヒント

- フラッシュが可能な範囲は、W端時で20 cm ～ 2.4 m、T 端時で 20 cm ～ 1.5 m です。
- フラッシュ調光センサー①を指などでふさがないでください。明るさを感知できません。
- 動画 [ ] のときは、発光禁止 [ ] に固定されます。
- フラッシュ発光が必要ない、明るい場所で電源を [ON] にして、その後フラッシュ発光が必要な暗い場所でシャッターボタンを押したとき、フラッシュ充電モードに入ります。
- フラッシュ充電中はシャッターボタンを押しても撮影できません。また、フラッシュ/アクセスランプ ② が点滅し、液晶モニターは消灯します。
- フラッシュの設定が[赤目軽減スローシンクロ]または[発光禁止]で、暗い場所でシャッターを半押しするときフラッシュ/アクセスランプが手ぶれ警告表示としてゆっくり点滅します。

  [ ] マークも同時に表示されます。三脚の使用をおすすめします。
- 連写 [ ] 設定時で、フラッシュが発光するときは 1 枚しか撮影できません。
- 以下のような場合、フラッシュを充電するため、撮影間隔が長くなる場合があります。
  - 電源を [ON] にしたとき
  - フラッシュ発光後
- 設定メモリーを[OFF]に設定していると、電源を[OFF]にしたときにリセットされます。(P73)
- フラッシュ撮影すると、フラッシュ光に適したホワイトバランスが自動的に設定されますが(手動でホワイトバランス設定時を除く)、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- 手動でホワイトバランス設定後、フラッシュ撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。フラッシュ撮影時はホワイトバランスを [AUTO] に設定することをおすすめします。

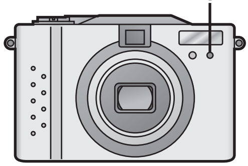




撮る・基本

セルフタイマーで撮る

セルフタイマーを設定すると、10 秒（または2秒）後に自動的に撮影されます。



[準備]
- モードダイヤルを選んでおいてください。（P33）

1 [◌] ボタンを押す

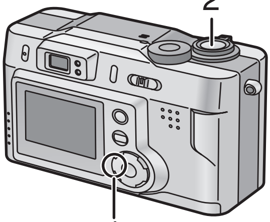
- 押すごとに以下のように変わります。

  ◌10（10秒）→ ◌2（2秒）→ OFF

  ◌10：セルフタイマー設定 10 秒

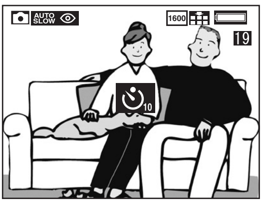
  ◌2：セルフタイマー設定２秒

  OFF：セルフタイマー解除



2 シャッターボタンを全押しする

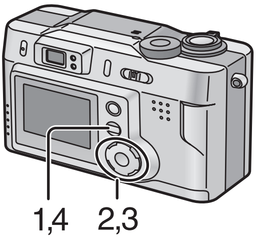
- セルフタイマーランプ ① が点滅し、10 秒（または 2 秒）後に撮影されます。
- 撮影前に [MENU] ボタンを押すとセルフタイマー設定が解除されます。



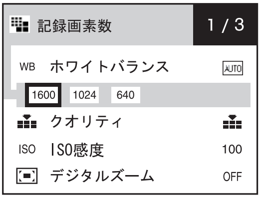
お願い/ヒント

- 動画 [▦] のときは、セルフタイマーが使えません。
- 連写 [▭] のときは、1 画像のみセルフタイマー撮影されます。
- 三脚の使用をおすすめします。

記録画素数を変える



2,3



3 種類の記録画素数の中から、目的に合わせて選ぶことができます。

[準備]

- モードダイヤルを選んでおいてください。（P33）

1　[MENU] ボタンを押す

2　▲/▼ で [記録画素数] を選ぶ

3　◀/▶ で記録画素数を選ぶ

- [1600]：1600 x 1200 画素
- [1024]：1024 x 768 画素
- [640]：640 x 480 画素

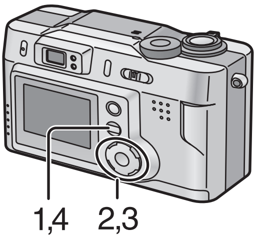
4　[MENU] ボタンを押す

- メニュー画面が消えます。

お願い/ヒント

- 動画 [ ] のときは、320 x 240 画素に固定されます。
- 少ない記録画素数を選ぶと、1 枚のメモリーカードにより多く記録できます。また、データ容量が小さいので、電子メールの添付画像やホームページ用画像などに使用するときに有効です。
- 多い記録画素数を選ぶと、鮮明にプリントすることができます。

クオリティ(圧縮率)を変える



2 種類のクオリティ(圧縮率)の中から、目的に合わせて選ぶことができます。

[準備]

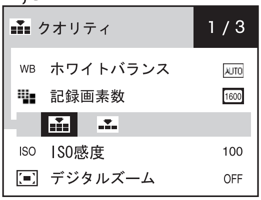
• モードダイヤルを選んでおいてください。(P33)

1　[MENU] ボタンを押す

2　▲/▼ で [クオリティ] を選ぶ

3　◀/▶ でクオリティ(圧縮率) を選ぶ

2,3



• :ファイン(低圧縮)
画質を優先し、高画質に記録します。

• :スタンダード(標準圧縮)
撮影枚数を優先し、画質は標準で記録します。

クオリティと記録枚数
(ⓐ 記録画素数、ⓑ クオリティ)

• 記録枚数は付属の 8MB の SD メモリーカード使用時のものです。めやすにしてください。(ファイン、スタンダード混在時や撮影される被写体によっては、記録枚数は変動します)

ⓐ	ⓑ	
1600×1200	約 8 枚	約12枚
1024×768	約18枚	約34枚
640×480	約41枚	約68枚

8MB の SD メモリーカード使用時

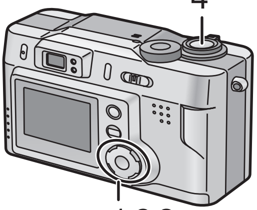
4　[MENU] ボタンを押す

• メニュー画面が消えます。

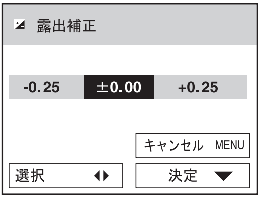
お願い/ヒント

• 動画 [ ] のときは、クオリティを変更できません。
• クオリティをスタンダードにするとシーンによってモザイク状になることがあります。
• 液晶モニターに表示される残り枚数は撮影された枚数分、減少しない場合があります。

露出を補正して撮る



2



被写体と背景の明るさにきわめて大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

[準備]

- モードダイヤルを選んでおいてください。（P33）

1 [ ] ボタンを押す

2 ◀/▶ で露出を調節する

- −２ EV から＋２ EV の範囲で 0.25EV ステップで補正できます。
（EV とは Exposure Value の略で、露光量を表す単位です。
EV0 ＝絞り値 F1.0 でシャッタースピード 1 秒の露光量
絞り値またはシャッタースピードが上がると、EV1、EV2、EV3･･･と増します。）

3 ▼ ボタンを押す

- 露出補正画面が消えます。

4 撮影する

- 撮影手順は「撮影してみましょう （P34）」と同じです。

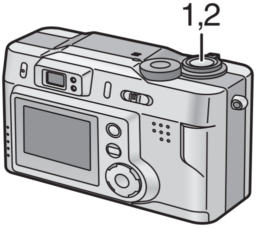
お願い/ヒント

- 動画 [ ] のときは、露出を補正することができません。
- モードダイヤルを切り換えたとき、または設定メモリーを [OFF] に設定していると、電源を [OFF] にしたときにリセットされます。(P73)
- ISO 感度を [AUTO] に設定していると、シーンによっては露出補正できない場合があります。

撮る・応用

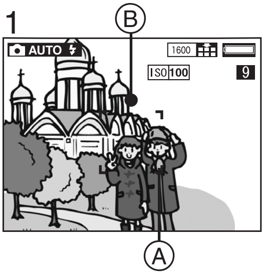
AF/AE ロックして撮る

被写体が AF エリアから外れている場合、そのままシャッターボタンを押すだけでは被写体にピントが合いません。ピントと露出を固定(AF/AE ロック)してからシャッターボタンを押すと、ピントの合ったきれいな画像が撮れます。
AF: オートフォーカス
AE:オートエクスポージャー(自動露出)



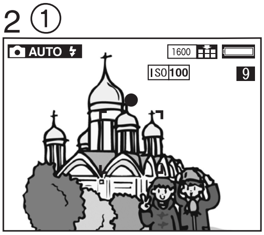
[準備]

- モードダイヤルを選んでおいてください。(P33)



1 左図 ① のような構図を撮りたい場合、ピントを合わせたい被写体が液晶モニターのフォーカスエリア Ⓐ に入るように合わせ、シャッターボタンを半押し(AF/AE ロック)したまま保持しておく

- ピントが合うと、フォーカス表示[●]Ⓑが画面に出ます。

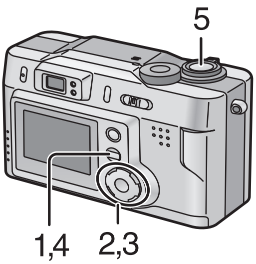


2 カメラを動かし、撮りたい構図で保持していたシャッターボタンを押し切る

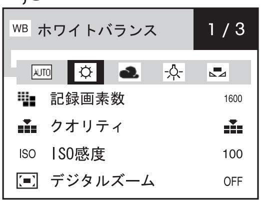
📖 お願い/ヒント

- AF/AE ロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

自然な色合いに調整して撮る(ホワイトバランス)



2,3



オートホワイトバランスにより、自動で自然な色合いに撮ることができますが、場面の状態や光源によっては、自動で自然な色合いに撮れないことがあります。このような場合に手動でホワイトバランスを設定します。

[準備]
- モードダイヤルを選んでおいてください。(P33)

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で[ホワイトバランス]を選ぶ

3 ◀/▶ で必要なモードを選ぶ

- AUTO:自動で設定するとき
- (晴天):屋外晴天下で撮影するとき
- (曇り):曇天や日陰で撮影するとき
- (白熱灯):白熱灯下で撮影するとき
- (セットモード):手動で設定するとき(詳しい設定方法については次のページをご覧ください)

4 [MENU] ボタンを押す

- メニュー画面が消えます。

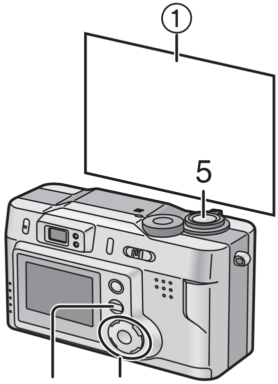
5 撮影する

- 撮影手順は「撮影してみましょう(P34)」と同じです。

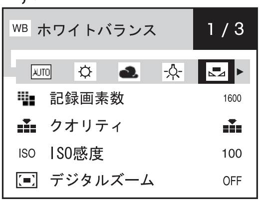
お願い/ヒント

- 設定メモリーを [OFF] に設定していると、電源を [OFF] にしたときにリセットされます。(P73)
- フラッシュ撮影すると、フラッシュ光に適したホワイトバランスが自動的に設定されますが(手動でホワイトバランス設定時を除く)、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。

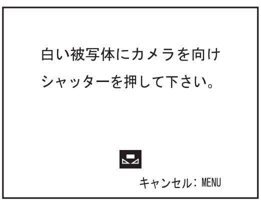
自然な色合いに調整して撮る(ホワイトバランス)(つづき)



2,3



4



ここでは、手動でホワイトバランスを設定するセットモードについて説明します。

1　[MENU] ボタンを押す

2　▲/▼ で[ホワイトバランス]を選ぶ

3　◀/▶ でセットモード[■]を選ぶ

新しくホワイトバランスを設定したいときのみ

4　▶ を押す

- メニュー画面が消えます。

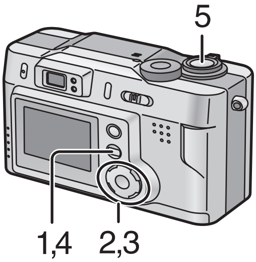
5　白い紙 ① などにカメラを向けて、画面全体が白くなるようにし、シャッターボタンを押す

- ホワイトバランスが設定されます。
- セットが完了するとメニュー画面に戻ります。

お願い/ヒント

- 手動でホワイトバランス設定後、フラッシュ撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。フラッシュ撮影時はホワイトバランスを [AUTO] に設定することをおすすめします。

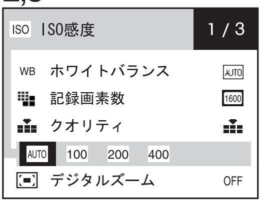
ISO 感度を設定して撮る



ISO 感度とは、光に対する敏感さを数値で表したもので、数値が高くなるほど、暗い場所での撮影に適しています。
フラッシュを使用できない場所や暗い場所での撮影に ISO 感度を変えることができます。

[準備]
- モードダイヤルを選んでおいてください。（P33）

2,3



1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で [ISO 感度] を選ぶ

3 ◀/▶ で感度を選ぶ

- AUTO:
  暗い場所で、フラッシュを[発光禁止]に設定し、シャッタースピードが1/30より遅くなる場合、手ぶれを抑制するため、シャッタースピードを 1/30 に固定して ISO 感度を ISO100～200 まで上げていきます。
- 100 :ISO100
- 200 :ISO200
- 400 :ISO400

4 [MENU] ボタンを押す

- メニュー画面が消えます。

5 撮影する

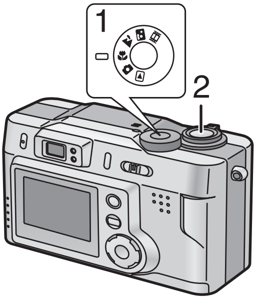
- 撮影手順は「撮影してみましょう（P34）」と同じです。

お願い/ヒント

- 動画 [ ] の時は、[AUTO] になります。
- ISO 感度を高くして撮影すると、画面にノイズが出て、画質が劣化します。
- 画質をよくしたい場合は ISO 感度を [100] にしてください。
- 設定メモリーを [OFF] に設定していると、電源を [OFF] にしたときにリセットされます。(P73)

近距離で撮る(マクロモード)

カメラのレンズから被写体までの距離が15 cm ～ 70 cm のときはマクロ [ ] に設定します。



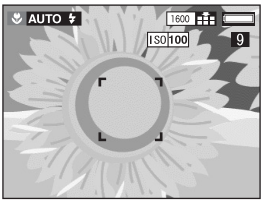


1　モードダイヤルをマクロモード [ ] にする (P33)

- [ ] が表示されます。

2　撮影する

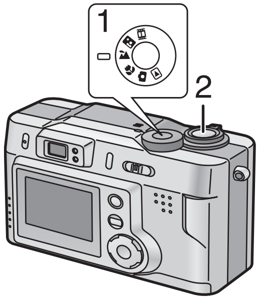
- 撮影手順は「撮影してみましょう(P34)」と同じです。



お願い/ヒント

- マクロ機能設定時、光学ファインダー内は撮影範囲とのズレが生じます。液晶モニターをご使用ください。

遠くの風景を撮る（風景モード）



遠くの風景をきれいに撮影したいときに使用するモードです。屋外で被写体までの距離が 10 m 以上のときに最適です。窓ガラス越しに撮影する場合でも遠くの風景を撮影することができます。

1 モードダイヤルを風景モード [🏞] にする (P33)

• [🏞] が表示されます。

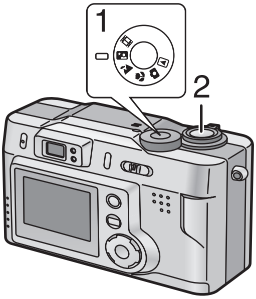
2 撮影する

• 撮影手順は「撮影してみましょう（P34）」と同じです。

📖 お願い/ヒント

• 10 m ～∞でピントが合います。
• ISO 感度の設定は [100] に固定されます。
• ホワイトバランスの設定は晴天（☀）に固定されます。

夜景を背景に撮る(夜景ポートレートモード)



夜景をバックに人物などを撮影したいときに設定します。フラッシュとスローシャッターを使うことにより、背景だけでなく被写体の露出も合わせやすくなります。スローシャッターになるため三脚の使用をおすすめします。また被写体をフラッシュの届く範囲 (W 端時 2.4 m、T 端時 1.5 m) で撮影してください。
ズームレバーを W 側にして撮影することをおすすめします。

1　モードダイヤルを夜景ポートレートモード [ ] にする (P33)

- [ ] が表示されます。

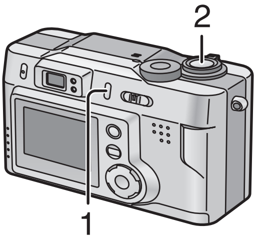
2　撮影する

- 撮影手順は「撮影してみましょう (P34)」と同じです。

お願い/ヒント

- ピントが合わないときは、撮影距離は 2.4 m になります。
- ホワイトバランスの設定は晴天( )に固定されます。
- フラッシュの設定は赤目軽減スローシンクロに固定されます。
- シャッタースピードがスローになるため、シャッターを押したときのビープ音が長くなりますが、異常ではありません。

連続して撮る(連写)



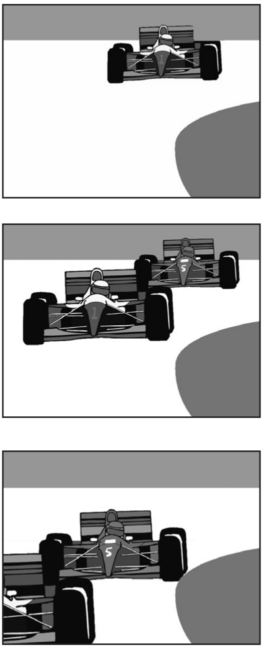
シャッターボタンを押し続けている間、連続して画像を撮影します。(最大 5 コマ/秒)

[準備]
- モードダイヤルを選んでおいてください。(P33)

1 [ ] ボタンを押す

- [ ] が表示されます。

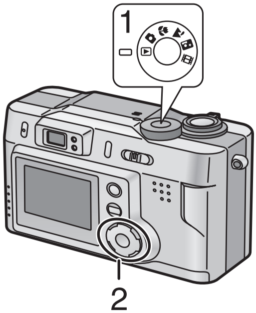
2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しし続けて連続撮影する

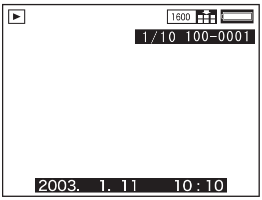


お願い/ヒント

- クオリティをファイン [ ] に設定していると、3 コマまでしか連写できません。
- 動画 [ ] のときは連写できません。
- AF/AE/ ホワイトバランスの設定は、2 コマ目以降は 1 コマ目で撮影されたものと同じ設定です。
- シャッタースピードによっては 1 秒に 5 コマ連写できません。
- フラッシュが光る場合は 1 枚しか撮影できません。
- オートレビューを [ON] に設定しているときは液晶モニターには 1 枚目の画像のみ表示されます。

撮影した静止画を再生する





1 モードダイヤルを再生[▶]にする (P33)

- 再生画面が表示されます。

2 ◀ で前の画像を再生する ▶ で次の画像を再生する

- 押すごとに前の(次の)画像が再生されます。
- 最後に撮影した画像の次は、最初の画像になります。

お願い/ヒント

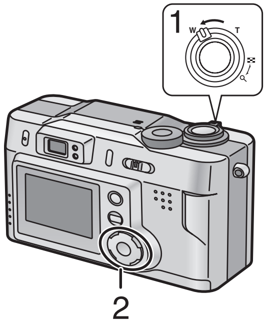
- 本機は電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格 DCF(Design rule for Camera File system) に準拠しています。
- 本機で再生できるファイル形式は JPEG です。(JPEG 形式でも再生できないものもあります。)
- 他機で撮影された静止画を再生すると、画質が劣化したり、再生できない場合があります。
- 規格外のファイルを再生したときはフォルダー/ ファイル番号が [−] で表示され、画面が黒くなります。

９枚ずつ画像を表示する(マルチ再生)

１画面に９枚の画像を表示することができます。

[準備]

• モードダイヤルを再生[▶]にしておいてください。(P33)

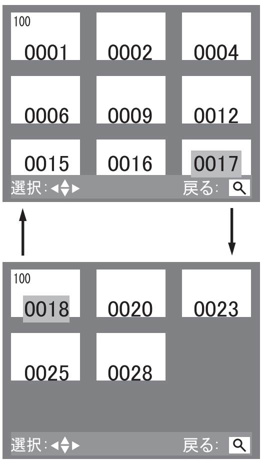


1　画像再生中に、[⊞] 側（ズームレバーの W 側）へ動かす

• マルチ再生(９コマ)になります。

2　▲/▼/◀/▶ で画像をおくる

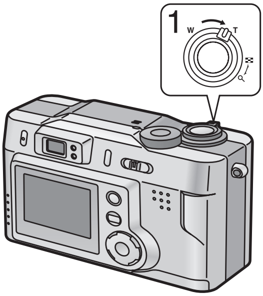
• １画面表示に戻るときは [🔍] 側(ズームレバーの T 側)へ動かしてください。黄色で表示された番号の画像が１画面表示されます。



見る

再生画面を拡大する(再生ズーム)

再生中の画像を拡大して表示することができます。

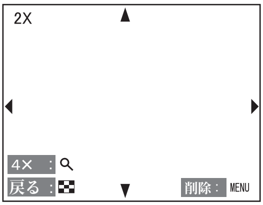


[準備]

- モードダイヤルを再生[▶]にしておいてください。(P33)

1　画像再生中に、[🔍] 側（ズームレバーの T 側）へ動かす

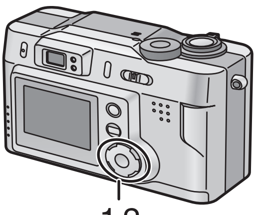
- [🔍]側(ズームレバーのT側)へ動かすごとに、ズーム倍率が2倍、4倍、8倍、16倍と大きくなります。
- [▦]側(ズームレバーの W 側)へ動かすごとに、ズーム倍率が小さくなります。
- ▲/▼/◀/▶ で拡大位置を変えることができます。



お願い/ヒント

- 動画再生中は拡大することができません。
- 再生ズームは、拡大するほど画質が劣化します。
- 他機で撮影した画像を再生ズームできない場合があります。

撮影した動画を再生する



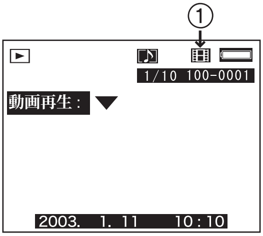
[準備]

• モードダイヤルを再生[▶]にしておいてください。(P33)

1 **◀/▶ で動画アイコン [▦]① が付いたファイルを選ぶ**

2 **[REVIEW/SET] ボタンを押して動画を再生する**

• [MENU] ボタンを押すと停止します。

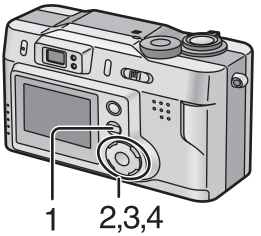


見る

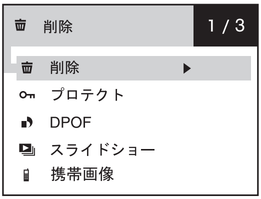
📖 お願い/ヒント

• 本機で再生できるファイル形式は QuickTime Motion JPEG です。
• 他機で記録された QuickTime Motion JPEG ファイルを本機で再生できない場合があります。
• 他機で撮影された動画を再生すると、画質が劣化したり、再生できない場合があります。
• 本機では音声再生はできません。パソコンなどで再生してください。(パソコンで再生するには付属の CD-ROM に入っているソフト [QuickTime] をインストールする必要があります)

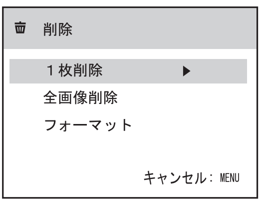
画像を削除する



2



3



カードに記録された画像を削除します。
一度削除した画像は復帰しません。

[準備]

- モードダイヤルを再生 [▶] にしておいてください。
- プロテクトされていると、画像を削除できません。プロテクト設定を解除しておいてください。(P63)

一枚削除

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で [削除] を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で[1 枚削除]を選び、▶ を押す

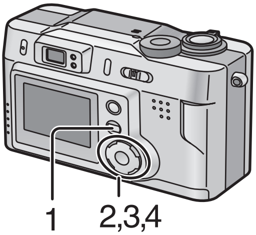
4 ◀/▶ で画像を選び、[REVIEW/SET] ボタンを押す

5 ◀/▶ で [削除] を選び、[REVIEW/SET] ボタンを押す

- 選択した画像が削除されます。

全画像削除

一度削除した画像は復帰しません。



1 [MENU] ボタンを押す

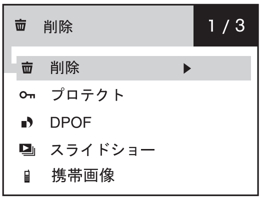
2 ▲/▼ で [削除] を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で [全画像削除] を選び、▶ を押す

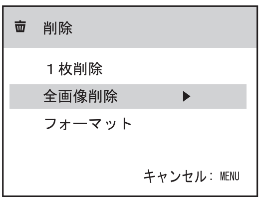
4 ◀/▶ で [削除] を選び、[REVIEW/SET] ボタンを押す

- すべての画像が削除されます。

2



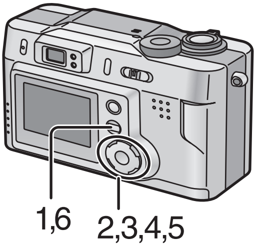
3



お願い/ヒント

- 削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。
  故障などの原因となることがあります。

プリント情報をカードに書き込む（DPOF 設定）



プリントしたい画像、プリント枚数などの情報（DPOF データ）をカードに書き込むことができます。

DPOF とは Digital Print Order Format の略です。DPOF 対応のシステムで活用できるようにカードのメモリー画像にプリント情報などを付加できるようにしたものです。

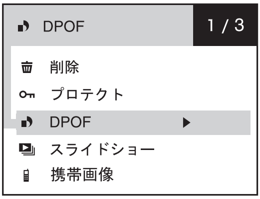
[準備]

• モードダイヤルを再生[▶]にしておいてください。(P33)

表示画像設定

1 [MENU] ボタンを押す

2



2 ▲/▼ で[DPOF設定]を選び、▶を押す

3 ▲/▼ で [表示画像設定] を選び、▶ を押す

3



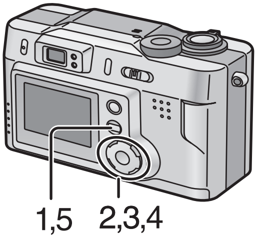
4 ◀/▶ で画像を選ぶ

5 ▲/▼ で枚数を選ぶ

• プリント枚数は 99 枚まで設定できます。

6 [MENU] ボタンを押す

全画像設定



1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼で[DPOF設定]を選び、▶を押す

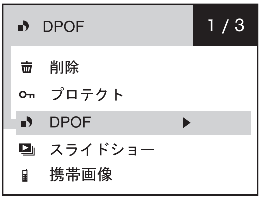
3 ▲/▼ で [全画像設定] を選び、▶を押す

4 ▲/▼ で枚数を選ぶ

- プリント枚数は 99 枚まで設定できます。

5 [MENU] ボタンを押す

2



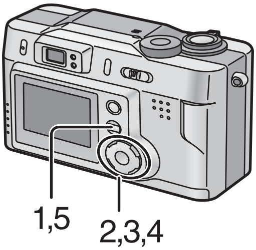
3



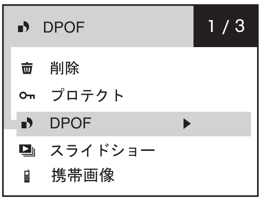
お願い/ヒント

- DCF 規格に準拠していないファイルはDPOF 設定できません。(DCF とは Design rule for Camera File system の略で、(社)電子情報技術産業協会のファイルシステム規格に準拠した記録方式です)
- 他機でスライドショー設定された画像を本機で DPOF 設定するとスライドショー設定は解除され、DPOF スライドショーになります。
- 付属のソフト、[SD Viewer for DSC] でDPOF 設定された画像は本機では DPOF スライドショーできません。DPOF 設定は本機で行ってください。

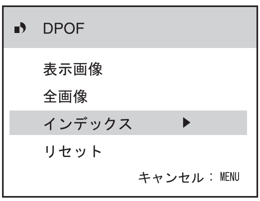
DPOF 設定(つづき)



2



3



インデックス設定

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼で[DPOF設定]を選び、▶を押す

3 ▲/▼で[インデックス設定]を選び、▶ を押す

4 ▲/▼ で枚数を選ぶ

- プリント枚数は 99 枚まで設定できます。

5 [MENU] ボタンを押す

- すべての画像が設定されます。

リセット

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼で[DPOF設定]を選び、▶を押す

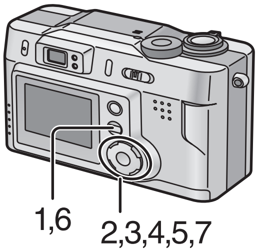
3 ▲/▼ で[リセット]を選び、▶ を押す

4 ◀/▶ で[リセット]を選ぶ

5 [REVIEW/SET] ボタンを押す

- すべての DPOF 設定が解除されます。

カードの画像をプロテクトする



カードに記録した大切な画像を誤って削除しないように、プロテクトすることができます。

[準備]

- モードダイヤルを再生[▶]にしておいてください。(P33)

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で [プロテクト] を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で[表示画像]/[全画像]を選び、 ▶ を押す

4 表示画像設定時のみ◀/▶で画像を選ぶ

5 [REVIEW/SET] ボタンを押す

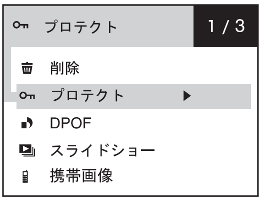
- O┳(プロテクト表示)が表示されます。

6 [MENU] ボタンを３回押す

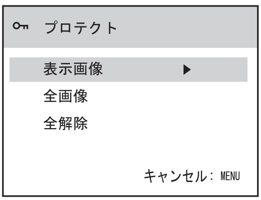
- メニュー画面が消えます。

7 プロテクトの解除は、[全解除]を選び、 ▶ を押し、[はい] を選択後、[REVIEW/SET]ボタンを押す

2



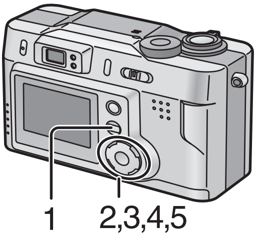
3



お願い/ヒント

- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は削除されます。
- プロテクトされたファイルを削除しようとすると、「プロテクトされています」というメッセージが表示され、削除できません。ファイルを削除したいときは、プロテクト設定を解除してください。

スライドショーを見る(自動再生)



カード内の指定した画像を自動的に連続させて見ることができます。

[準備]

- モードダイヤルを再生[▶]にしておいてください。(P33)

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で [スライドショー] を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で[全画像]/[DPOF]を選び、▶ を押す

- 全画像:全ての画像を見る
  DPOF:DPOF 設定した画像を見る

4 ▲/▼ で [再生間隔] を設定する

- 再生間隔:1～10秒の中から設定できます。

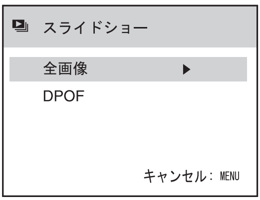
5 ▶ を押す

- スライドショーが始まります。
- [MENU] を押すと終了します。

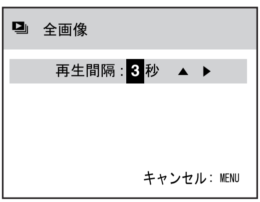
2



3



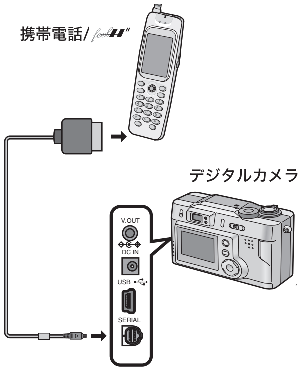
4



お願い/ヒント

- スライドショーで動画再生できません。
- 付属の CD-ROM のソフトウェア「SD Viewer for DSC」で編集された SD スライドショーを本機で見ることができます。82 ページをお読みください。
- 他機でスライドショー設定された画像を本機で DPOF 設定するとスライドショー設定は解除され、DPOFスライドショーになります。
- 付属のソフト [SD Viewer for DSC] で DPOF 設定された画像は本機では DPOF スライドショーできません。DPOF設定は本機で行ってください。

携帯電話/feel H" につなぐ



撮影した画像を携帯電話(KDDI社のau cdmaOne)/feel H"の壁紙や着信画面、Eメールの添付用の画像として自動的にリサイズ(小さくする)して別売のシリアルケーブル、DMW-PC1(携帯電話用)/DMW-PH1(feel H"用)を使って携帯電話(au cdmaOne)/feel H"へ転送することができます。

本機側の操作

1 モードダイヤルを再生[▶]にする (P33)

2 ◀/▶ で画像を再生する (P54)

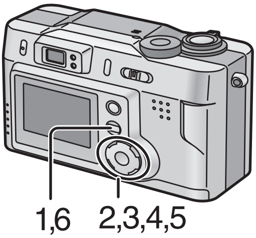
携帯電話 / feel H" 側の操作

- 画像を携帯電話 / feel H" に取り込むときは詳しくは、お使いの携帯電話 / feel H" の取扱説明書の外部機器接続の項目をご覧ください。
  (画像は携帯電話 / feel H" 側の操作により、指定サイズに変更されます。)

お願い/ヒント

- 詳しくは別売のシリアルケーブルの取扱説明書をお読みください。
- 携帯電話 / feel H" の最新の適用機種についてはパナソニックのホームページ(http://www.panasonic.co.jp/products/dc/)をご覧ください。

携帯電話/feel H”に添付する画像をカードに書き込む（携帯画像）

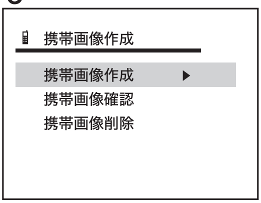


携帯電話 / feel H” へ SD メモリーカード経由で受け渡しするための画像（320x240 画素）を作成します。
この機能を使うと DPOF 自動送信ファイル（AUTXFER.MRK）が SD メモリーカードに作られます。携帯電話 / feel H” の DPOF 機能によりファイル内の画像が自動的に選択され、簡単にメールに添付することができます。作成された画像は、SD メモリーカードスロット付きの一部の携帯電話 / feel H”（2002 年 3 月現在の対応機種は KX-HS100、KX-HF300、KX-HS110, KX-HV200）で使えます。

2



3



[準備]

- モードダイヤルを再生[▶]にしておいてください。(P33)

1 **[MENU] ボタンを押す**

2 **▲/▼ で [携帯画像] を選び、▶ を押す**

3 **▲/▼ で [携帯画像作成] を選び、▶ を押す**

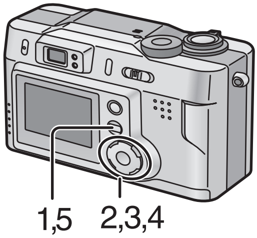
4 **◀/▶ で画像を選ぶ**

5 **[REVIEW/SET] ボタンを押す**

- 選択した画像が設定されます。
- 必要枚数分繰り返してください。（最大９枚まで）

6 **[MENU] ボタンを 3 回押す**

- 設定された画像を削除すると、再度、携帯画像を作成することができます。



送信用画像を確認する

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で [携帯画像] を選び、▶ を押す

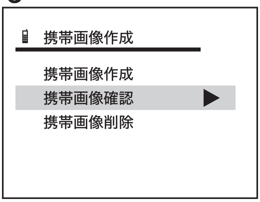
3 ▲/▼ で [携帯画像確認] を選び、▶ を押す

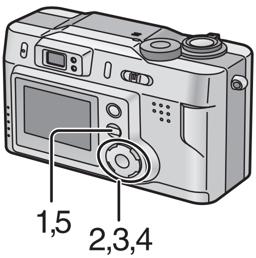
4 ◀/▶ で画像を送り、確認する

5 [MENU] ボタンを 3 回押す

- メニュー画面が消えます。

3





送信用画像を削除する

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で [携帯画像] を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で [携帯画像削除] を選び、▶ を押す

4 ◀/▶ で [はい] を選び、[REVIEW/SET] ボタンを押す

- 「しばらくお待ちください」と表示が出ます。(数秒間表示されます)

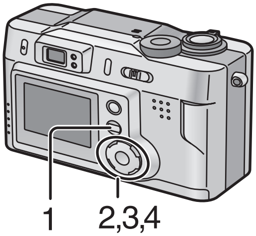
5 [MENU] ボタンを 2 回押す

- メニュー画面が消えます。

お願い/ヒント

- 携帯電話添付用画像の画像サイズは [320 x 240] 画素に設定されています。
- 設定された画像を削除すると、再度、携帯画像を作成することができます。
- 画像を転送する前に作成された画像を確認してください。

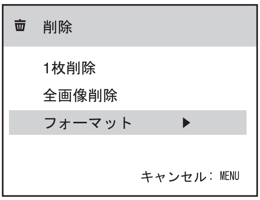
カードをフォーマットする



2



3



通常、カードはフォーマット（初期化）する必要はありません。[メモリーカードエラー] とメッセージが表示された場合にフォーマットしてください。

[準備]

- モードダイヤルを再生[▶]にしておいてください。(P33)

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で [削除] を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で[フォーマット]を選び、▶を押す

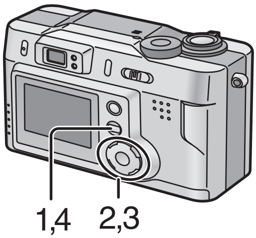
4 ◀/▶ で [フォーマット] を選び、[REVIEW/SET] ボタンを押す

- カードがフォーマットされます。
- フォーマットすると、記録されていた画像やその他のデータが削除され、復帰させることはできません。

お願い/ヒント

- パソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用する場合、もう一度本機でフォーマットしてください。
- カードがフォーマットできないときはお買い上げの販売店へご連絡ください。
- フォーマット中は、メモリカードを取り出したり、電源を切らないでください。
  故障などの原因となることがあります。

液晶モニターの明るさを調整する



1 [MENU] ボタンを押す

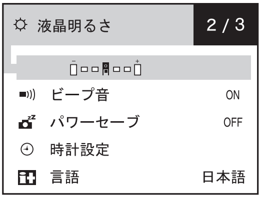
2 ▲/▼ で [液晶明るさ] を選ぶ

3 ◀/▶ で明るさを調整する

4 [MENU] ボタンを押す

- メニュー画面が消えます。

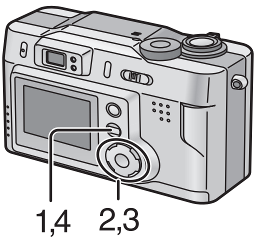
2,3



お願い/ヒント

- 設定メモリーを [OFF] に設定していると、電源を [OFF] にしたときにリセットされます。(P73)

撮影した画像を自動で表示させる（オートレビュー設定）



オートレビューを [ON] にして撮影すると、撮った画像が自動的に液晶モニターに約 1 秒間表示されます。

[準備]
- モードダイヤルを撮影系にしておいてください。(P33)

1 [MENU] ボタンを押す

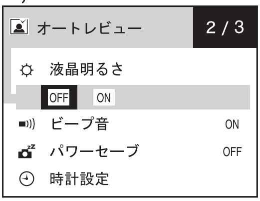
2 ▲/▼ で [オートレビュー] を選ぶ

3 ◀/▶ で [ON] を選ぶ

4 [MENU] ボタンを押す

- メニュー画面が消えます。

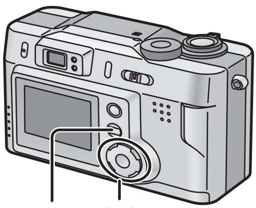
2,3



お願い/ヒント

- 連写 [ ] のときは、最初の 1 画像のみオートレビューで表示されます。
- オートレビューを [ON] に設定しても、動画 [ ] のときは、オートレビューされません。
- 設定メモリーを [OFF] に設定していると、電源を [OFF] にしたときにリセットされます。(P73)

ビープ音を設定する



メニュー操作をしたときや、シャッターボタンを押したときなどに、電子音を鳴らすように設定することができます。

1 [MENU] ボタンを押す

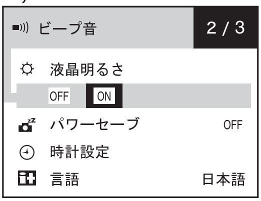
2 ▲/▼ で [ビープ音] を選ぶ

3 ◀/▶ で [ON] を選ぶ

4 [MENU] ボタンを押す

- メニュー画面が消えます。

2,3

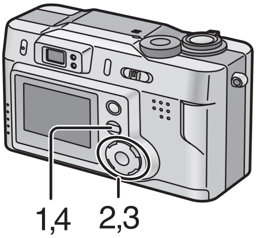


お願い/ヒント

- 設定メモリーを [OFF] に設定していると、電源を [OFF] にしたときにリセットされます。(P73)

使いこなす

省電力モードに設定する(パワーセーブ)



一定時間カメラの操作をしなかった場合、自動的に電源を OFF にします。

1 [MENU] ボタンを押す

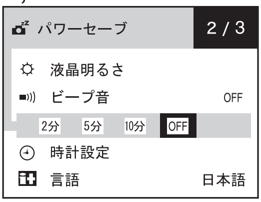
2 ▲/▼ で [パワーセーブ] を選ぶ

3 ◀/▶ で[OFF]/[2 分]/[5 分]/[10分] を選ぶ

4 [MENU] ボタンを押す

- メニュー画面が消えます。

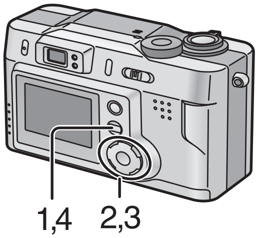
2,3



お願い/ヒント

- パワーセーブを解除するには、電源スイッチを [OFF] にしてからもう一度 [ON] にしてください。
- 設定メモリーを [OFF] に設定していると、電源を [OFF] にしたときにリセットされます。(P73)
- 別売の AC アダプター(DMW-AC1) 使用時は、パワーセーブ機能は働きません。

設定を記憶させる



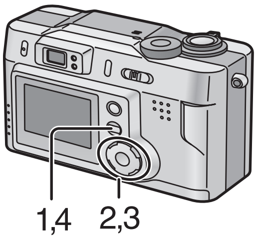
[準備]
電源スイッチを [ON] にしておいてください。

1　[MENU] ボタンを押す
2　▲/▼ で [設定メモリー] を選ぶ
3　◀/▶ で [ON] を選ぶ
4　[MENU] ボタンを押す
- メニュー画面が消えます。

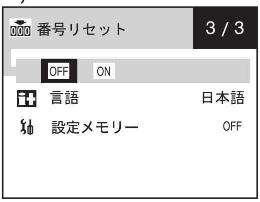
○: 電源を入 / 切しても設定が記憶されます
－: 電源を入 / 切すると設定が記憶されません

	設定メモリー OFF	設定メモリー ON
ホワイトバランス	－	○
記録画素数	○	○
クオリティ	○	○
ISO 感度	－	○
デジタルズーム	－	○
液晶明るさ	－	○
オートレビュー	－	○
ビープ音	－	○
パワーセーブ	－	○
時計設定	○	○
番号リセット	－	－
言語	○	○
設定メモリー	－	○
ビデオ信号	○	○
露出補正	－	○
フラッシュ設定	－	○
連写	－	－
液晶モニター（撮影時）	○	○
液晶モニター（再生時）	－	－

ファイル番号をリセットする



2,3



本機はファイル番号をカメラ側で連続する通し番号でセットして記録しますので複数のカードを使用したとき、カード内の画像のファイル番号が連続していない場合があります。新しいカードに記録するときにファイル番号を0001から記録したいときはこの機能を使用してください。

1　[MENU] ボタンを押す

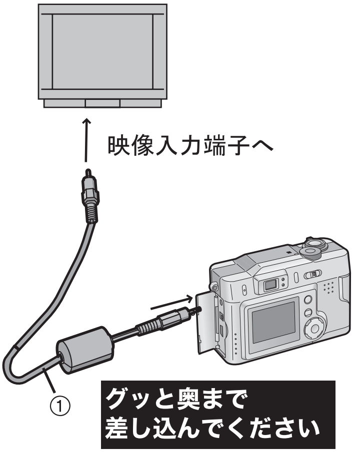
2　▲/▼ で [番号リセット] を選ぶ

3　◀/▶ で [ON] を選ぶ

4　[MENU] ボタンを押す

- メニュー画面が消えます。

テレビに画像を映して再生する



付属のビデオケーブル ① を使ってカメラとテレビを接続すると、テレビに画像を表示して再生ができます。

[準備]

- 電源スイッチを [OFF] にし、テレビの電源も切っておいてください。

1 **カメラのV.OUT(ビデオ出力)端子にビデオケーブルを接続する**

2 **テレビの映像入力端子にビデオケーブルを接続する**

3 **テレビの電源を入れ、「外部入力」にする**

4 **電源スイッチを [ON] にし、モードダイヤルを再生 [▶] にする**

- 画像がテレビに表示されます。

お願い/ヒント

- 撮影モードでは、テレビに画像を表示させることはできません。
- 付属の専用ケーブル以外は使わないでください。
- テレビの説明書もお読みください。
- 動画再生時、音声は再生できません。

使い終わったら

デジタルカメラを使い終わったら、以下の手順の後、保管することをおすすめします。

1 電源スイッチを [OFF] にする

2 メモリーカード扉を開ける

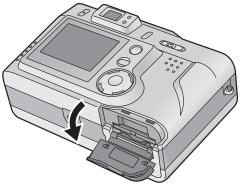
3 バッテリー扉をスライドさせて開ける

4 カードを取り出す

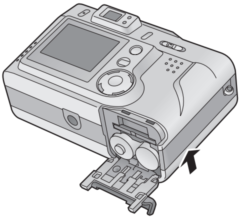
5 電池を外す

• 時計設定のバックアップは、約 6 時間後に消えます。もう一度時計設定をしなおしてください。

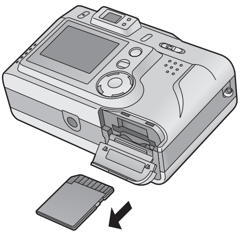
2



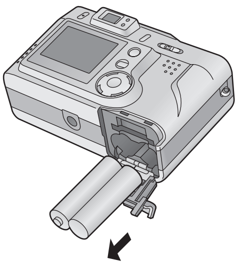
3



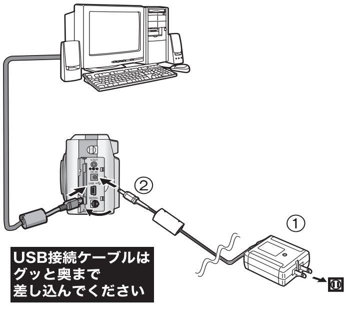
4



5



パソコンと接続する



[準備]

Windows®98/98Second Edition をご使用の場合のみ、付属の CD をパソコンから起動し、USB ドライバーをインストールしておいてください。

1 付属の USB 接続ケーブルで、本機とパソコンを接続する

2 本機にメモリーカードを入れ、電源スイッチを [ON] にし、モードダイヤルを再生 [▶] にする

Windows の場合
[マイコンピュータ] フォルダーにドライブが表示されます。

- 初めて接続したときは、Windows のプラグアンドプレイにより、デジタルカメラを認識するために必要なドライバーが自動的にインストールされ、その後 [マイコンピュータ] フォルダーにドライブが表示されます。

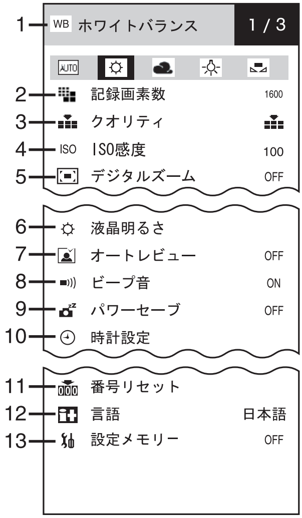
Macintosh の場合
画面上にドライブが表示されます。

お願い/ヒント

- 詳しくは別冊の「USB 接続キット編」をお読みください。
- 十分に充電された電池を使用してください、また使用中は残量表示を確認してください。
- 接続時は別売の AC アダプター(DMW-AC1) を使うことをおすすめします。

メニュー画面の表示

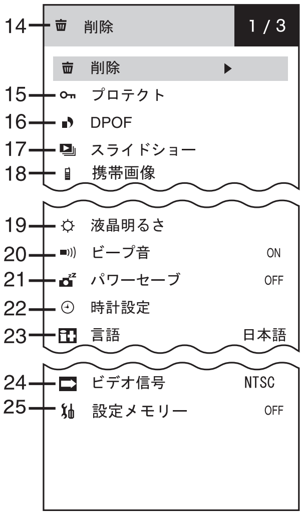
撮影系メニュー画面



1　ホワイトバランス(P47)
2　記録画素数(P43)
3　クオリティ(P44)
4　ISO 感度(P49)
5　デジタルズーム(P39)
6　液晶明るさ(P69)
7　オートレビュー(P70)
8　ビープ音(P71)
9　パワーセーブ(P72)
10 時計設定(P31)
11 番号リセット(P74)
12 言語(P32)
13 設定メモリー(P73)

再生系メニュー画面

• 左図に番号記載のない項目は、撮影系メニューの同名のものを参照してください。



14 削除(P58, P59)
15 プロテクト(P63)
16 DPOF(P60 ～ P62)
17 スライドショー(P64)
18 携帯画像(P66)
19 液晶明るさ
20 ビープ音
21 パワーセーブ
22 時計設定
23 言語
24 ビデオ信号 (P83)
25 設定メモリー

使用上のお願い

デジタルカメラについて

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響をおよぼし、画像が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、電池を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で画像が悪くなることがあります。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする
また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりは、本機の故障につながります。
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、その後、乾いた布でふいてください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースがこわれ、故障します。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、バッテリーを外しておくか、電源プラグをコンセントから抜いておきます。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装のはげるおそれがあります。
- 本機は、やわらかい、乾いた布でほこりをふいてください。よごれがひどいときは、台所用中性洗剤を水でうすめ、布をひたし、よく絞ってよごれをふき、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

使用上のお願い(つづき)

電池について

使用後は、必ず電池を外す

- 付けたままにしておくと、デジタルカメラの電源スイッチが[OFF]であっても、絶えず微少電流が流れています。これをそのままにしておくと、過放電になり、充電しても電池が使用できなくなるおそれがあります。

出かけるときは予備の電池を準備する

- 使用したい時間の３～４倍の電池を準備してください。スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
- 旅行をされるときは、現地で電池を充電できるように充電器も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグも必要です。(P83、P84)

使用後は必ずカードを取り出し、電池を外す

- 電池は涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度：１５℃～２５℃、推奨湿度：４０％～６０％です)
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、電池の寿命が短くなることがあります。
- 高温•多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因となります。
- 長期間保管する場合、１年に１回は充電し、カメラを使用し、電池残量がなくなってから、カメラから取り外して再保管することをおすすめします。

不要(寿命になったなど)電池は火中などに投入しない

- 加熱や火中などに投入すると、破裂するおそれがあります。
- 電池には、寿命があります。

不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先

- 下記の充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。
- お買い上げの販売店または最寄りの松下電器の販売店•サービスセンター•販売会社へ。もしくは(社)電池工業会にご確認ください。
(ホームページ:http://www.baj.or.jp)

使用済み充電式電池(バッテリー)の取り扱い

- 端子部をセロハンテープなどでおおい、リサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ

Ni-MH

ニッケル水素
電池使用

つゆつきについて

夏に冷蔵庫から出したビンなどに、しばらくすると水滴がつきます。この現象が本機に起こった場合が「つゆつき」です。
つゆつきが起こっていると撮影できなくなります。つゆつきを起こさない心がけと、起こったときの処置を正しく守ってください。

つゆつきが起こる原因は
下記のように温度差、湿度差があると起こります。

- 寒い屋外から暖かい屋内に持ち込んだとき
- 冷房のきいた車などから車外へ出したとき
- 寒い部屋を急に暖房したとき
- エアコンなどの冷風がデジタルカメラに直接当たっていたとき
- 湿気がたち込めるなど湿度の高いところ

つゆつきが起こった場合の処置
電源スイッチを [OFF] にし、1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

メモリーカードについて

フラッシュ/ アクセスランプが点灯中 (カードにアクセス中) は、カード扉を開けてカードを抜いたり、電源を切らない、また振動や衝撃を与えない
カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない。また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊されるおそれがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。

使用後は、必ずカードを取り出して、保管する

- 使用後や保管、持ち運び時は収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

画像データについて

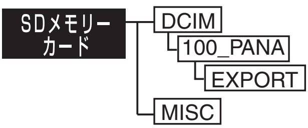
- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 「しばらくお待ちください」が表示されているときは絶対に、電池を取り外したり、メモリーカードを取り出したりしないでください。データの破壊および、故障の原因になります。

液晶モニターについて

- 温度差が激しい場所では、液晶モニターにつゆがつくことがあります。柔らかい乾いた布でふいてください。
- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本体が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。
- 液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については 99.99%以上の高精度管理をしておりますが 0.01%以下で画素欠けするものがあります。

フォルダー構造について

データを記録したカードをパソコンに入れると、フォルダーが下図のように表示されます。



- 100_PANA　フォルダーなどには最大で 999 枚の画像を記録できます。
- MISC フォルダーには DPOF 設定されたファイルが記録されます。
- EXPORT　フォルダーには携帯画像のファイルが記録されます。

SD スライドショーについて

付属の CD-ROM に入っている SD Viewer for DSC で SD スライドショーの設定がされていると、モードダイヤルを再生モードにして電源を [ON] にしたときに「SD スライドショーを開始しますか？」とメッセージがでます。[REVIEW/SET] ボタンを押すと SD Viewer for DSC で設定された SD スライドショーが始まります。

- 通常再生にする時は、[MENU] を押してください。

海外で使う

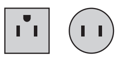
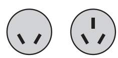
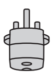
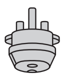
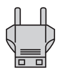
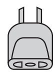
撮ったものを海外で見るには

再生系メニュー画面から[ビデオ信号]を選び、設定すると、日本と同じカラーテレビ方式 (NTSC) を採用している国、地域と PAL 方式を採用している国、地域でテレビに接続して見ることができます。

日本と同じ NTSC 方式を採用している国、地域

- アメリカ合衆国
- アンチグア・バーブーダ
- イエメン（一部地域）
- 英領バーミューダ諸島
- エクアドル
- エルサルバドル
- ガイアナ
- カナダ
- キューバ
- グァテマラ
- グァム島
- グレナダ
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- スリナム
- セントクリストファー･ネイビス
- セントビンセント・グレナディーン諸島
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ共和国
- ドミニカ国
- トリニダード・トバゴ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バハマ
- バルバドス
- フィジー
- フィリピン
- プエルトリコ
- 米領サモア
- ベトナム（一部地域）
- ベネズエラ
- ベリーズ
- ペルー
- ボリビア
- ホンジュラス
- マーシャル諸島
- マリアナ諸島
- ミクロネシア連邦
- ミャンマー
- メキシコ

北米					
カナダ	A	アメリカ合衆国	A		
ヨーロッパ・旧ソ連地域					
アイスランド	C	ノルウェー	C	アイルランド	C
ハンガリー	C	イギリス	B.BF	フィンランド	C
イタリア	C	フランス	C	オーストリア	C
ベルギー	C	ギリシャ	C	ポーランド	B.C
オランダ	C	ポルトガル	B.C	スイス	B.C
ルーマニア	C	スウェーデン	C	ロシア	C
スペイン	A.C	ウクライナ	C	デンマーク	C
ベラルーシ	C	ドイツ	C	カザフスタン	C
アジア					
インド	B.C	モルジブ	B	インドネシア	B.C
バングラデシュ	C	シンガポール	B.BF	フィリピン	A.C.S
タイ	A.BF.C	ベトナム	A.C	大韓民国	A.B.C
中華人民共和国	A.B.BF.C.S	スリランカ	B	マカオ特別行政区	B.C
香港特別行政区	B.BF	マレーシア	B.BF.C	ネパール	C
モンゴル	C	パキスタン	B.C	台湾	A
オセアニア					
オーストラリア	S	トンガ	S	グァム島	A
ニュージーランド	S	タヒチ	C	フィジー	S
中南米					
アルゼンチン	BF.C.S	バハマ	A	コロンビア	A
プエルトリコ	A	ジャマイカ	A	ブラジル	A.C
チリ	B.C	ベネズエラ	A	ハイチ	A
ペルー	A.C	パナマ	A	メキシコ	A
中東					
イスラエル	C	クウェート	B.C	イラン	C
ヨルダン	B.BF				
アフリカ					
アルジェリア	A.B.BF	ザンビア	B.BF	エジプト	B.BF.C
タンザニア	B.BF	カナリア諸島	C	南アフリカ共和国	B.C
ギニア	C	モザンビーク	C	ケニア	B.C
モロッコ	C				

タイプ	A	B	BF	C	S
形状					
変換プラグ	不要です				

警告表示

メモリーカードがありません
メモリーカードを入れてください。

このメモリーカードはプロテクトされています
メモリーカードのロックを解除してください。

画像が記録されていません
画像を記録する、または画像が記録されたメモリーカードを入れてから再生してください。

メモリーカード残量がありません
新しいカードに取りかえる、または不要なデータを削除してください。

メモリーカードエラー
- メモリーカードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れてください。
- 本機では認識できないフォーマットです。本機でフォーマットしなおしてください。

リードエラー
データの読み込みに失敗しました。もう一度再生してください。

ライトエラー
データの書き込みに失敗しました。カードを抜くか、一度電源を[OFF]にしてから、再度 [ON] にして記録してください。またはカードが破壊されている可能性があります。

プロテクトされています
画像のプロテクトを解除してから削除や上書きをしてください。

削除できない画像があります
画像のプロテクトを解除してから削除してください。

この画像は削除できません
DCF 規格に準拠していない画像は削除できません。

この画像は設定できません / 設定できない画像があります
DCF 規格に準拠していない画像は DPOF 設定できません。

故障かな？と思ったら

1: 電源が入らない。

1-1: 電池が入っているか確認してみてください。

1-2: 電池は寿命になっていませんか。

1-3: 当社製のニッケル水素電池をご使用ください。

2: 電源が入っていてもすぐに切れる。

2-1: 電池が消耗していませんか。

2-2: つゆつきになっていませんか。寒いところから暖かいところにデジタルカメラを持ち込んだときなど、内部につゆつきが発生することがあります。つゆつきがなくなるまでお待ちください。

3: 画像が撮れない。

3-1: メモリーカードが入っていますか。

3-2: カードの残り枚数がありません。撮影する前にいくつかの画像を消去してください。

4: 液晶モニターに画像が出ない。

4: 液晶モニターが [OFF] になっていませんか。

5: 液晶モニターがまぶしかったり、暗かったりする。

5: 液晶モニターの明るさを正しく調整してください。

6: フラッシュが発光しない。

6: フラッシュモードを [発光禁止] にしています。フラッシュモードを変更してください。

7: 再生できない。

7-1: メモリーカードが入っていますか。

7-2: メモリーカードに画像がありません。

8: テレビに画像が出ない。

8-1: テレビと正しく接続されていますか。確認してください。

8-2: メニュー設定の [ビデオ信号] が正しく設定されていますか。

8-3: テレビはビデオ入力モードに設定してください。

9: パソコンに接続して画像を転送できない。

9: パソコンと正しく接続されていますか。確認してください。

10: [時計を設定して下さい] という表示が出る。

10: お買い上げ時は時計設定はされていませんので撮影前に設定してください。満充電された電池を挿入、または別売の AC アダプターを接続して約 5 分以上経過すると電池を取り外して放置しても、約 6 時間は時計設定を記憶しています。（十分に充電されていない電池を挿入した場合は記憶時間が短くなることがあります）しかしそれ以上時間が経過すると設定が消えてしまいますので、もう一度時計設定をしなおしてください。(P31)

11: 夜景ポートレートモードで撮影するとき、ビープ音が長く鳴る。

11: シャッタースピードがスローになるため、シャッターを押したときのビープ音が長く鳴りますが、異常ではありません。

12: 液晶モニターが消灯しない。

12: デジタルズームを [ON] に設定しているときは液晶モニターの表示は消灯しません。

仕様

電源	DC 3 V
消費電力	4.2 W（液晶 ON 撮影時） 0.9 W（液晶 OFF 撮影時） 2.7 W（再生時）

カメラ有効画素数	2.0M 画素
映像素子	1/2.7 型 CCD　総画素数 211 万画素 , 原色フィルター
レンズ	X3 f=5.4-16.2mm (35mm フィルムカメラ換算：35-105mm)/F2.8-4.6
フォーカス	オート / マクロ
撮影範囲	オート：50cm- ∞ , マクロ時：15 cm-70 cm,
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
ISO 感度	オート /100/200/400
シャッタースピード	静止画：1-1/1,000 動画：1/30-1/1,000
ホワイトバランス	オート / 晴天 / 曇り / 白熱灯 / セットモード
露出（AE）	プログラム AE, 露出補正（0.25EV ステップ、-2 ～ +2EV）
測光方式	中央重点測光
液晶モニター	1.5 型低温ポリシリコン TFT 液晶（11 万画素）
光学ファインダー	実像式ズームファインダー
フラッシュ	内蔵式 オート / 赤目軽減オート / 強制発光 / 赤目軽減スローシンクロ / 発光禁止 撮影範囲：約 20 cm ～約 1.5 m (T 端時) 撮影範囲：約 20 cm ～約 2.4 m (W 端時)
マイク	モノラル
記録メディア	SD メモリーカード／マルチメディアカード
記録画素数	1600x1200 画素 /1024x768 画素 /640x480 画素 /320x240 画素（動画）
クオリティ(圧縮率)	ファイン / スタンダード
画像 / 音声フォーマット	
静止画	JPEG(DCF Exif2.2 準拠)

動画	QuickTime Motion JPEG（音声付き動画）
信号	
デジタル	USB/ シリアル（携帯電話 au cdmaOne/ FOMA 接続用）
アナログビデオ	NTSC/PAL コンポジット
端子	
USB	5pin Mini USB(USB)
アナログビデオ	Φ2.5 mm ジャック
DC IN	EIAJ タイプ 1 ジャック（DC IN)
シリアル	8 ピンジャック
寸法（W x H x D)	99.8 x 65.9 x 40.1 mm（突起部除く）
重量	約 195 g（本体） 約 250 g（メモリーカード、電池含む）
推奨使用温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	～ 90%

充電器

定格入力	AC 100-240 V	50/60 Hz 0.07 A
定格出力	DC 1.5 V	0.4 A x 2

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！

●その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間 : お買い上げ日から本体 1 年間 「本体」にはソフトウェアの内容は含みません

■修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書をそえてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、デジタルカメラの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み

修理料金 は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電 話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは 365日）

FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan

〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉

Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

北 海 道 地 区

札幌　札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	帯広　帯広市西19条南1丁目7-11 ☎ (0155)33-8477	函館　函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631
旭川　旭川市2条通21丁目左1号 ☎ (0166)31-6151		

保証とアフターサービス
(よくお読みください)(つづき)

東北地区					
青森	青森市第二問屋町 3-7-10 ☎ (017)739-9712	岩手	盛岡市羽場13地割 30-3 ☎ (019)639-5120	山形	山形市流通センター 3丁目12-2 ☎ (023)641-8100
秋田	秋田市御所野湯本 2丁目1-2 ☎ (018)826-1600	宮城	仙台市宮城野区扇町 7-4-18 ☎ (022)387-1117	福島	福島県安達郡本宮町 字南ノ内65 ☎ (0243)34-1301

首都圏地区					
栃木	宇都宮市御幸町 194-20 ☎ (028)689-2555	埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎ (048)728-8960	山梨	甲府市下飯田2丁目 1-27 ☎ (055)222-5171
群馬	高崎市大沢町229-1 ☎ (027)352-1109	千葉	千葉市中央区 星久喜町172 ☎ (043)208-6034	神奈川	横浜市港南区日野 5丁目3-16 ☎ (045)847-9720
水戸	水戸市柳河町309-2 ☎ (029)225-0249	東京	東京都世田谷区 宮坂2丁目26-17 ☎ (03)5477-9780	新潟	新潟市東明1丁目 8-14 ☎ (025)286-0171
つくば	つくば市花畑2丁目 8-1 ☎ (0298)64-8756				

中部地区					
石川	石川県石川郡 野々市町稲荷 3丁目80 ☎ (076)294-2683	長野	松本市大字笹賀 7600-7 ☎ (0263)58-0073	岡崎	岡崎市岡町南久保28 ☎ (0564)55-5719
富山	富山市寺島1298 ☎ (076)432-8705	静岡	静岡市西島765 ☎ (054)287-9000	岐阜	岐阜県本巣郡北方町 高屋太子2丁目30 ☎ (058)323-6010
福井	福井市開発4丁目 112 ☎ (0776)54-5606	名古屋	名古屋市瑞穂区 塩入町8-10 ☎ (052)819-0225	高山	高山市花岡町3丁目82 ☎ (0577)33-0613
				三重	久居市森町字北谷 1920-3 ☎ (059)255-1380

近畿地区					
滋賀	守山市勝部6丁目 2-1 ☎ (077)582-5021	大阪	大阪市北区本庄西 1丁目1-7 ☎ (06)6359-6225	和歌山	和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
京都	京都市南区上鳥羽 石橋町20-1 ☎ (075)672-9636	奈良	大和郡山市椎木町 404-2 ☎ (0743)59-2770	兵庫	神戸市中央区 琴ノ緒町3丁目2-6 ☎ (078)272-6645

中国地区					
鳥取	鳥取市安長295−1 ☎ (0857)26-9695	出雲	出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	広島	広島市西区南観音 8丁目13−20 ☎ (082)295-5011
米子	米子市米原4丁目 2−33 ☎ (0859)34-2129	浜田	浜田市下府町 327−93 ☎ (0855)22-6629	山口	山口市鋳銭司 字鋳銭司団地北 447−23 ☎ (083)986-4050
松江	松江市平成町 182番地14 ☎ (0852)23-1128	岡山	岡山県都窪郡早島町 矢尾807 ☎ (086)292-1162		

四国地区					
香川	高松市勅使町152−2 ☎ (087)868-9477	高知	南国市岡豊町中島 331−1 ☎ (088)866-3142	愛媛	松山市土居田町 750−2 ☎ (089)971-2144
徳島	徳島県板野郡北島町 鯛浜字かや108 ☎ (088)698-1125				

九州地区					
福岡	春日市春日公園 3丁目48 ☎ (092)593-9036	大分	大分市萩原4丁目 8−35 ☎ (097)556-3815	天草	本渡市港町18−11 ☎ (0969)22-3125
佐賀	佐賀市本庄町大字 本庄896−2 ☎ (0952)26-9151	宮崎	宮崎県宮崎郡清武町 下加納366−2 ☎ (0985)85-6530	鹿児島	鹿児島市与次郎 1丁目5−33 ☎ (099)250-5657
長崎	長崎市東町1949−1 ☎ (095)830-1658	熊本	熊本市健軍本町12−3 ☎ (096)367-6067	大島	名瀬市矢之脇町10−5 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区		
沖縄	浦添市城間4丁目23−11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0102

Memo

Panasonic デジタルカメラ DMC-LC20 取扱説明書

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTimeは米国および他の国々で登録された商標です。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	DMC-LC20
販　売　店　名	☎（　　）		
お客様ご相談窓口	☎（　　）		

松下電器産業株式会社
AVCネットワーク事業グループ
〒571－8505　大阪府門真市松生町1番4号
システム事業グループ
〒571－8503　大阪府門真市松葉町2番15号